

# A-dec® 532/533 デリバリーシステム サービスガイド



## 目次

開始する前に .....	2
デリバリーシステムの 取り付け .....	3
ワイヤーとデータ回線の 接続 .....	20
Ethernet ケーブルの 接続 (532pro/533pro のみ、 オプション) .....	26
チューブの接続 .....	27
フロアボックスユーティリティ の接続 .....	32
システムの準備と調整 .....	33
タッチスクリーン、コントロー ルパッド、ハンドピースのカス タマイズ設定 .....	50
システムのテスト .....	53
カバーの取り付け .....	54
規制情報および保証 .....	60



A-dec 532pro デリ  
バリーシステム



A-dec 533pro デリ  
バリーシステム

### 本書で取り扱う機種とバージョン

機種	バージョン	説明
511	B	歯科用椅子
532/533	B	デリバリーシステム
532pro/533pro	なし	デリバリーシステム

## 開始する前に



**警告** 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。カバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。



**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



**注** 本書では、正しく取り付けるために重要な情報をこの注のように背景色付きで示します。

- 手動空気遮断弁および水遮断弁が設置されていることを確認してください。
- 空気および水ラインからすべての残屑をパージしてください。
- お住まいの地域の建物・規格管理機関に設置要件を確認してください。

## 推奨する工具

- 六角レンチセット
- 3/8 インチ、7/16 インチ、5/8 インチソケットとラチェット
- 斜ニッパー
- 5/32 インチの六角トルクレンチ
- アンビリカルスネーク
- スリーブプッシャー
- 静電気防止用リストストラップ
- トルクレンチ（5/8 インチのオープンエンドアダプター付き）
- プラスドライバー
- 水準器
- 巻尺
- 木製のブロック

## デリバリーシステムの取り付け

---

本サービスガイドは、特記される場合を除き A-dec 532B/533B および 532pro/533pro の両方に適用されます。

### デリバリーシステム固定アームの取り付け



**注** 同じ顧客施設で Traditional および Continental<sup>®</sup> の両デリバリーシステムを取り付ける場合は、固定アームを意図されたシステムに正しく取り付けるよう注意してください。Continental デリバリーシステムの固定アームの支柱は、Traditional デリバリーシステムの場合よりも高くなっています。



**注** システムに A-dec 372L/572L 歯科ライトまたは A-dec 482/381 モニターマウントが含まれる場合は、まずデリバリーシステムを取り付けてから、ライトやモニターマウントに同梱されていた設置説明書を参照してこれらを取り付けてください。



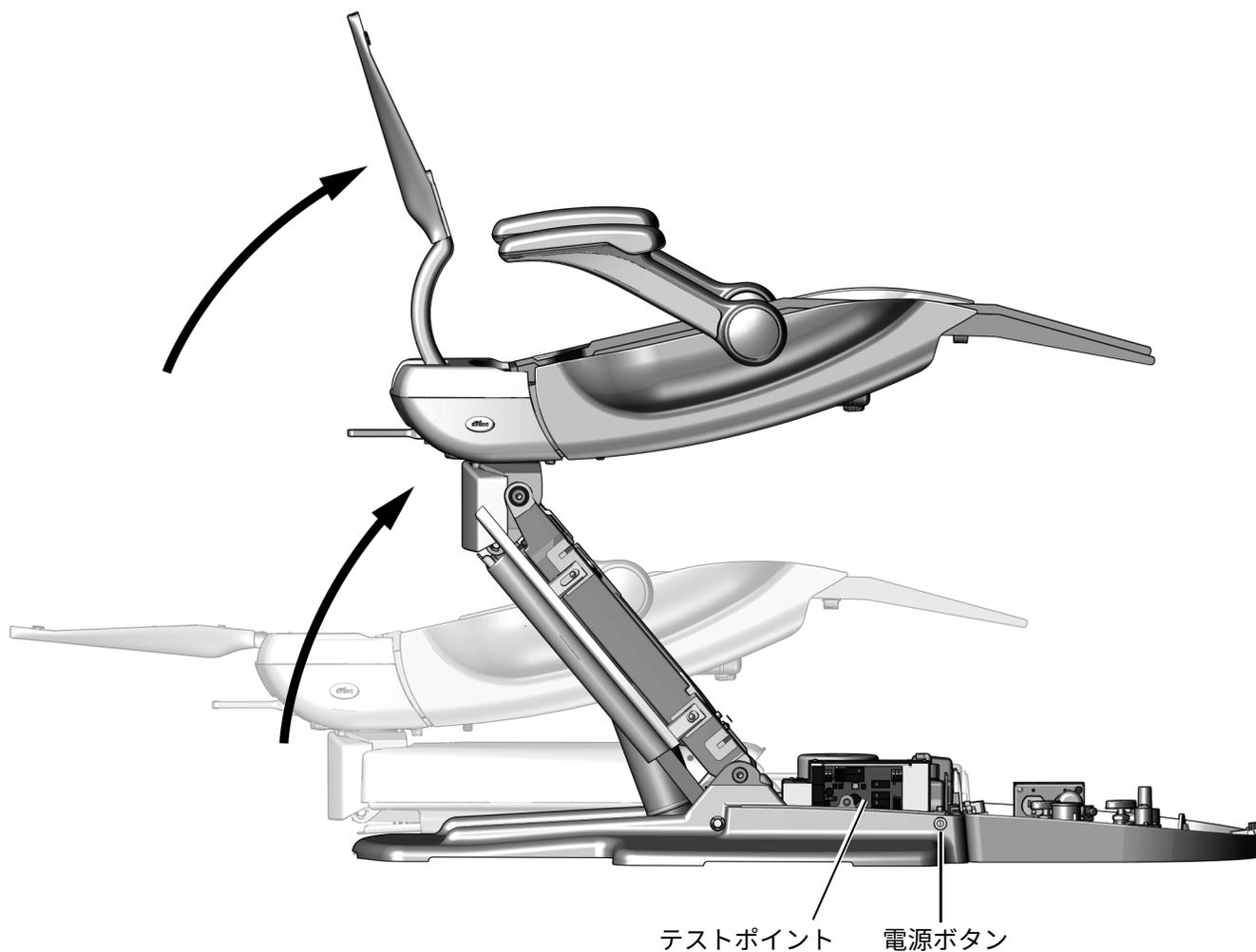
**注** A-dec 372L/572L 歯科ライトまたは A-dec 482/381 モニターマウントがすでに取り付けられているシステムにデリバリーシステムを追加する場合は、まずライトやモニターマウントを取り外して正面取付部を廃棄してから、デリバリーシステムを取り付け、ライトやモニターマウントを再度取り付けます。

## 推奨する工具

- トルクレンチ (5/8 インチのオープンエンドアダプター付き)
- 六角レンチ
- 巻尺

## 手順 1.

- 1 チェアの電源をオンにします。
- 2 テストポイントを使用して、チェアのベースと背板を限界まで上げます。

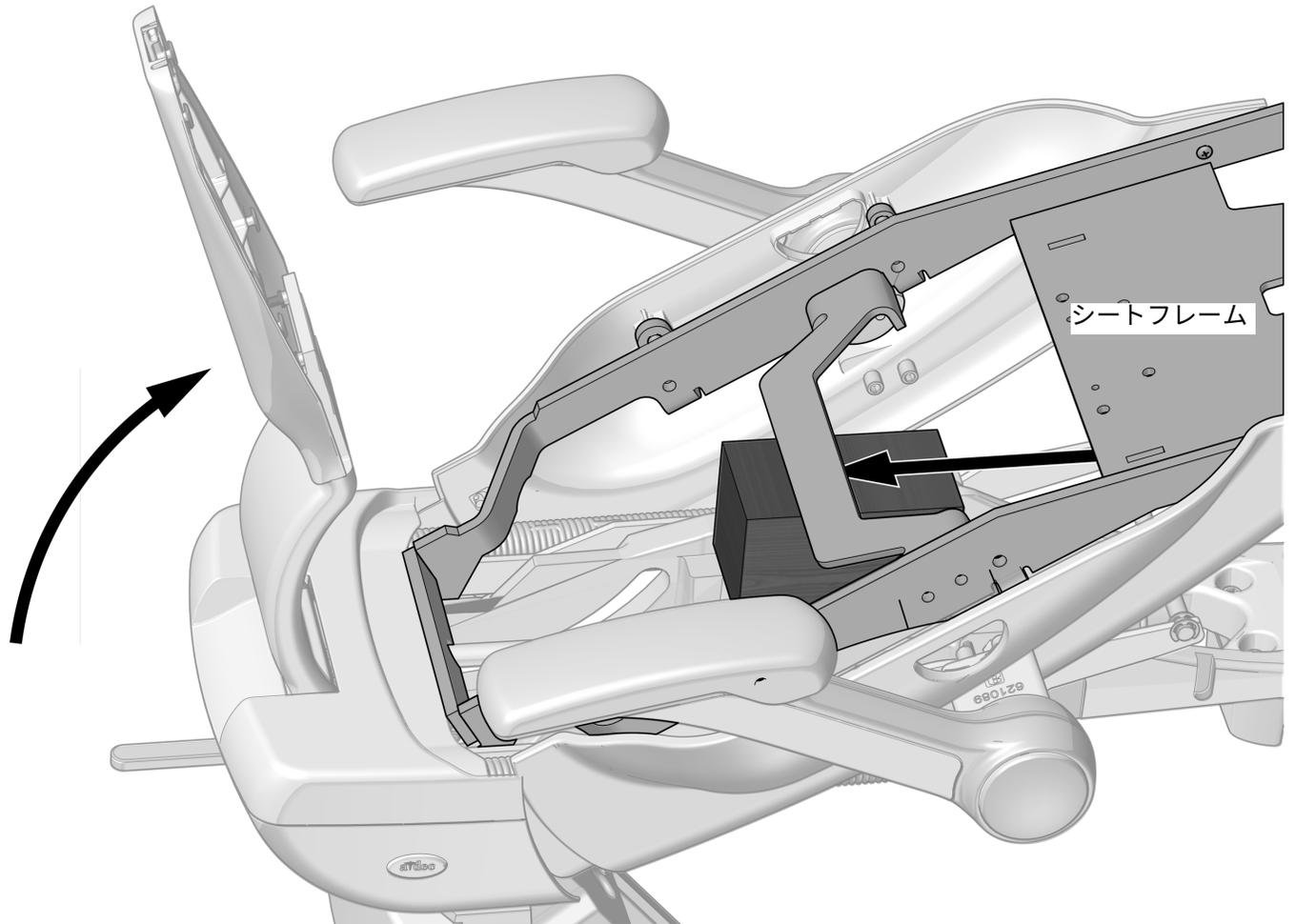


**警告** この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。

- 3 チェアの電源をオフにします。

## 手順 2.

木製のブロックを使用してシートフレームを持ち上げて支えると、上部構造にアクセスしやすくなります。

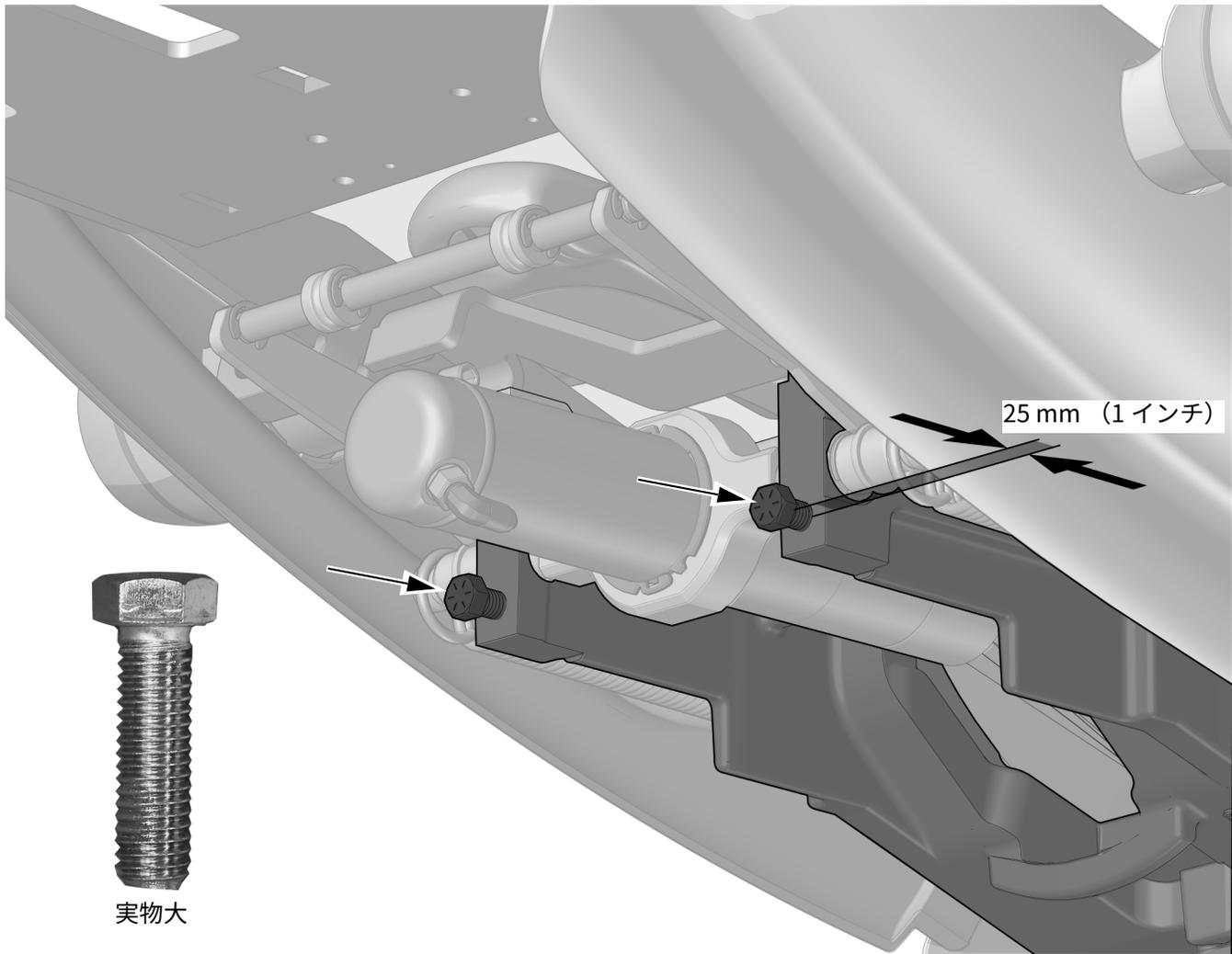


**1** シートフレームを持ち上げます。

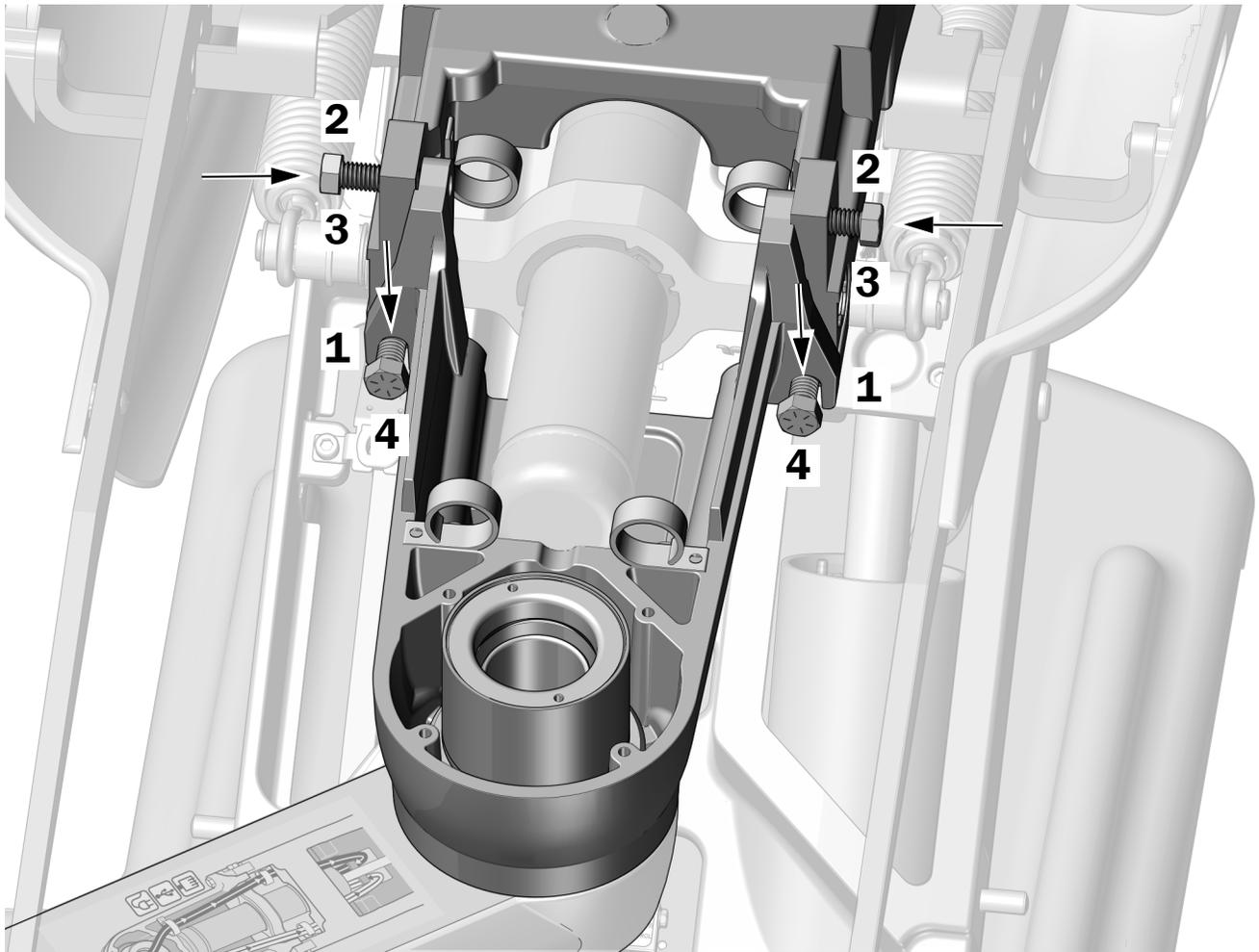
**2** シートフレームと上部構造の間に木製のブロックを置きます。

### 手順 3.

- 1 上部構造の正面に 7/16-4 x 1-1/2 インチの 2 本のボルトを、ネジ頭が上部構造から約 25 mm (1 インチ) の位置に来るまでねじ込みます。



## 手順 4.



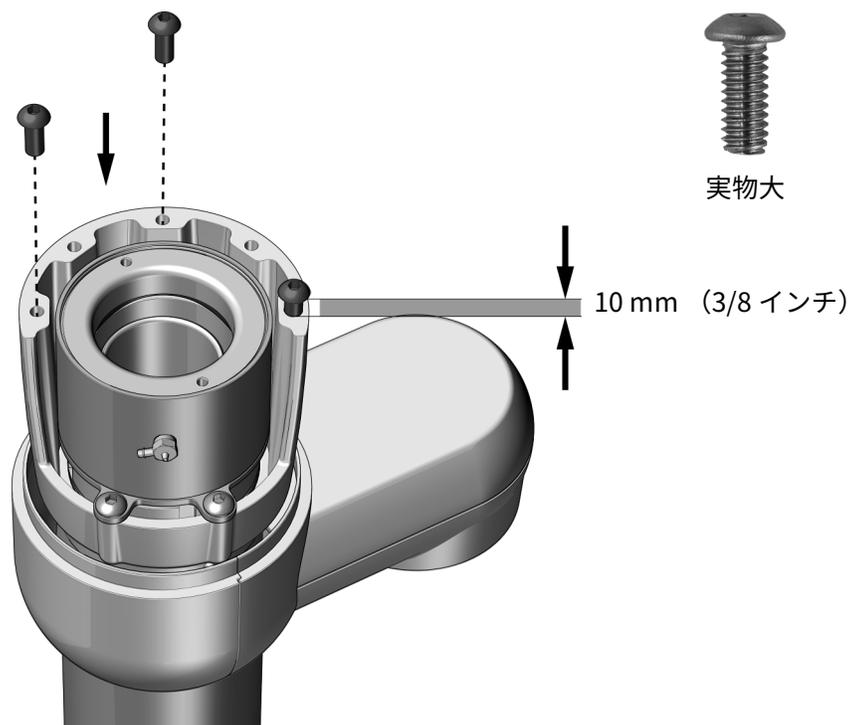
- 1** 固定アームまたは正面取付部アセンブリを、上部構造正面の 2 本のボルトにセットします。
- 2** 正面取付部の上部にある穴と上部構造の穴の位置を合わせ、5/8 インチのソケットとラチェットを使用して、これらの穴に 7/16-14 x 1-1/2 インチの 2 本のボルトを取り付けます。
- 3** トルクレンチ（5/8 インチのオープンエンドアダプター付き）を使用して、上部の 2 本のボルトを 47 Nm（35 フィートポンド）のトルクでしっかりと締め付けます。
- 4** トルクレンチ（5/8 インチのオープンエンドアダプター付き）を使用して、下部の 2 本のボルトを 47 Nm（35 フィートポンド）のトルクでしっかりと締め付けます。

## デリバリーシステムの取り付け

### 推奨する工具

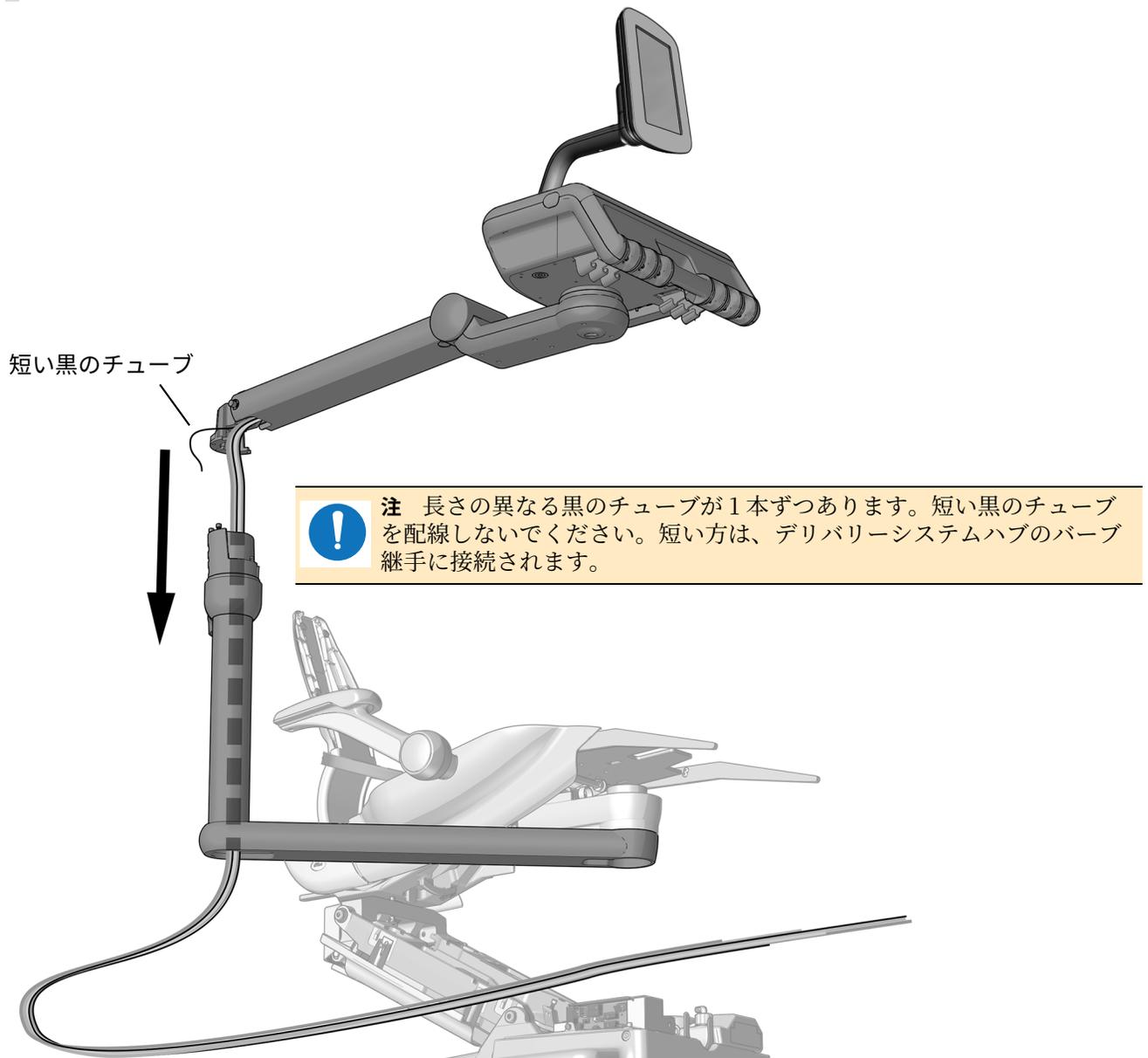
- 5/32 インチの六角トルクレンチ
- アンビリカルスネーク

### 手順 1.



- 1 5/32 インチの六角レンチを使用して、キットに含まれる 3 本のネジを両端の各穴と中央の穴に 1 つずつ取り付けます。ネジ頭がハブから約 10 mm (3/8 インチ) の位置に来るまでねじ込みます。ネジを最後まで締め付けないようにしてください。

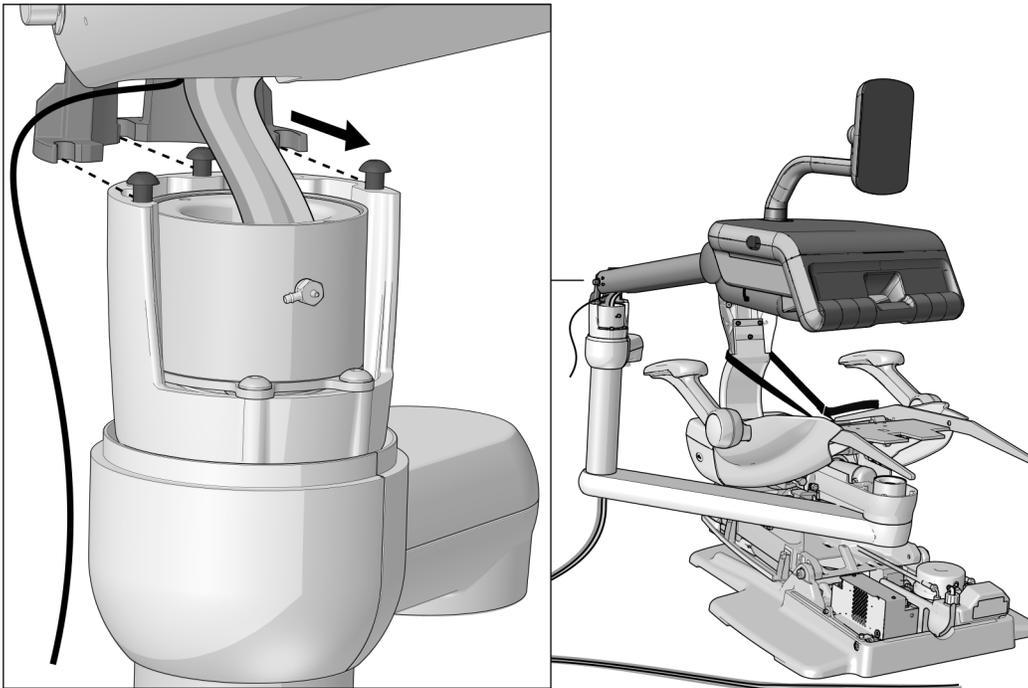
## 手順 2.



**注意** アンビリカルが固定アーム内を通過中にねじれ始めた場合は、回転させてねじれを解消してください。

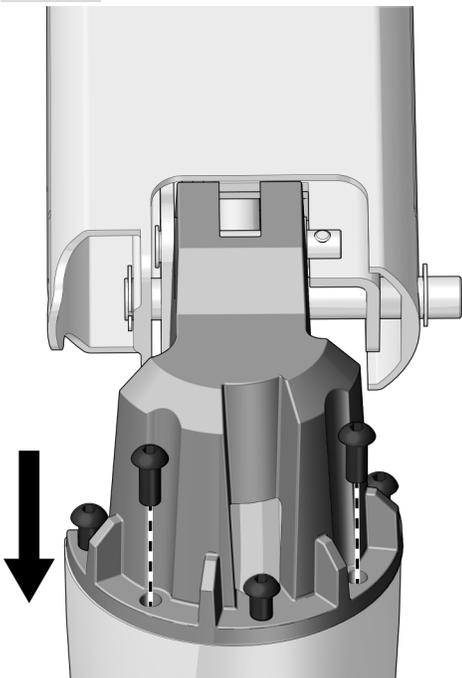
- 1** チェアの患者右側、頭の部分の近くに支柱が来るよう、デリバリーシステムの固定アームを配置します。
- 2** アンビリカルを固定アームの上から下へと通します。

### 手順 3.



- 1 デリバリーシステムのフレックスアームのハブをスライドさせて固定アームのハブにセットします。その際、固定アームのネジがフレックスアームのスロットに入るようにしてください。

### 手順 4.



- 1 フレックスアームを固定アームに固定するため、5/32 インチの六角トルクレンチを使用して 2 本のネジをハブの穴に挿入し、5 本のネジすべてを 6.8 Nm (60 重量ポンド) のトルクで締めます。

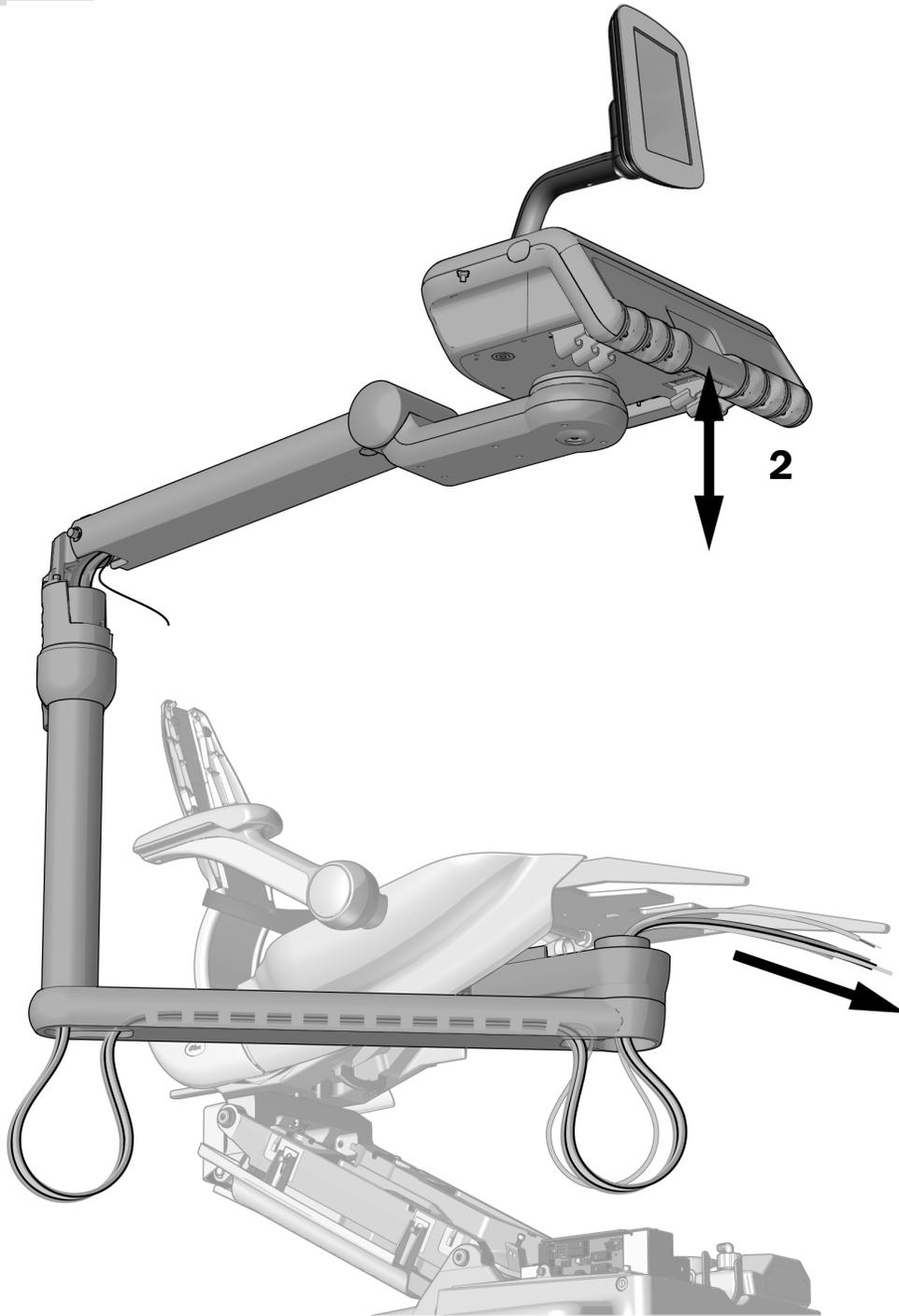


**注** フレックスアームの底部を固定アームハブの上部に密着させてください。



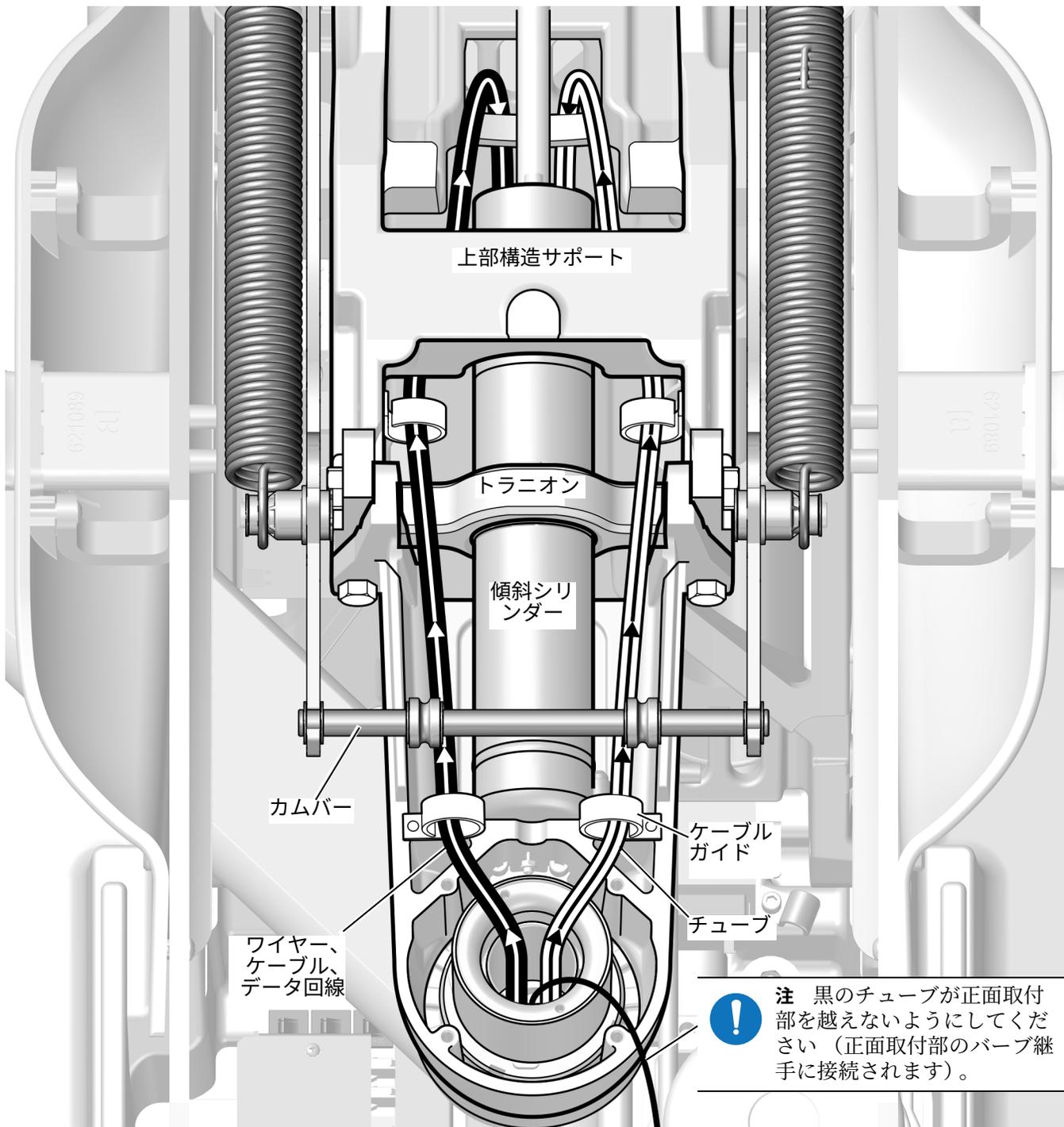
**ヒント** フレックスアームを固定する際は、ネジにかかる張力を軽減するため、コントロールヘッドをわずかに持ち上げてください。

手順 5.



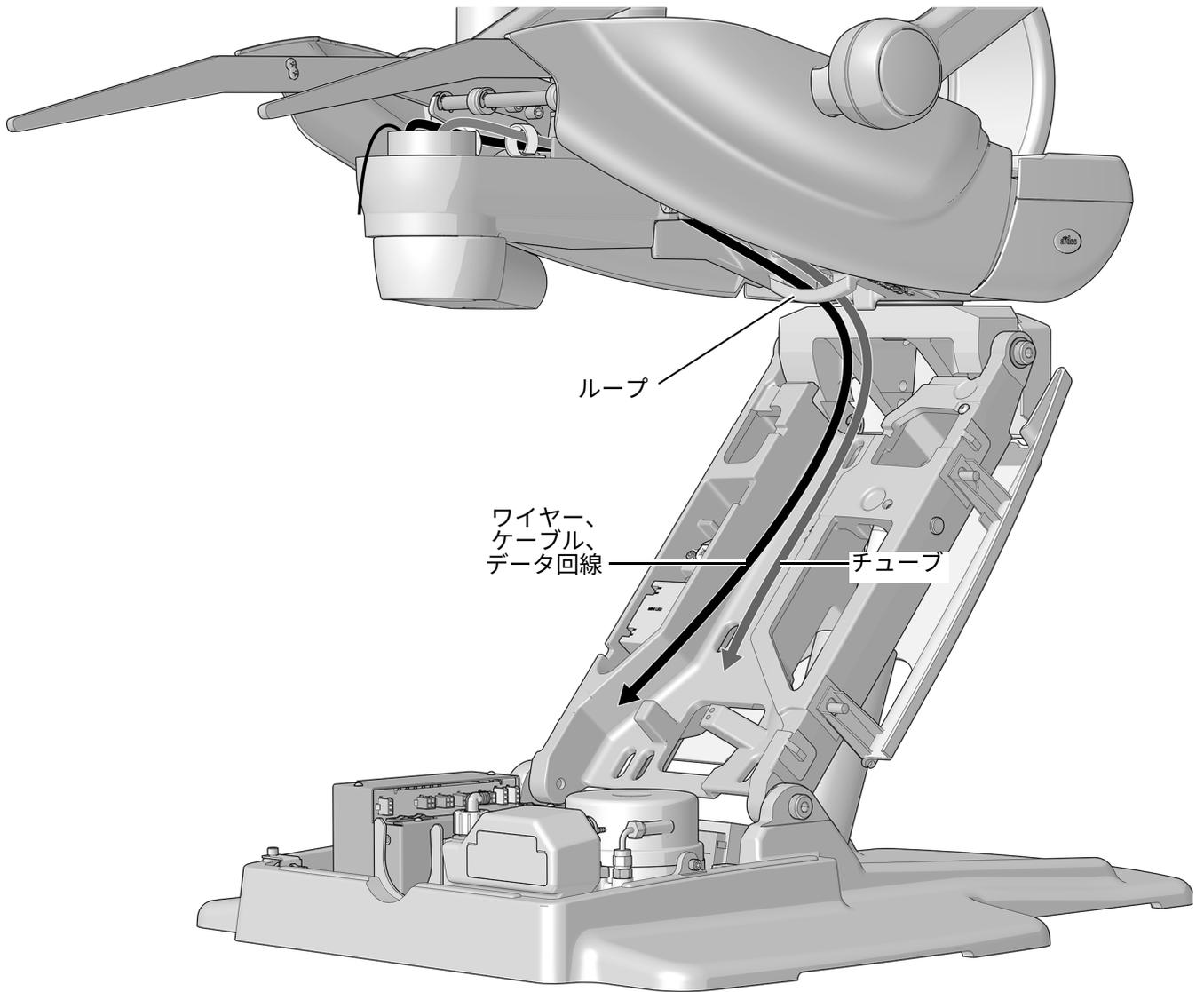
- 1 アンビリカルを固定アームに通し、正面取付部の穴に入れて引き上げます。
- 2 コントロールヘッドを動かしやすいよう、コントロールヘッドを限界まで押し下げてから引き戻し、アンビリカルに十分なたるみを確認します。
- 3 ウォーターボトルアンビリカルを正面取付部の穴に入れて引き上げます。

手順 6.



- 1 ケーブルガイドを使用して図のとおりワイヤーおよびケーブル、データ回線を左寄りに配線し、上部構造の下側へと通します。
- 2 ケーブルガイドを使用して図のとおりチューブ（短い黒のチューブを除く）を右寄りに配線し、上部構造の下側へと通します。

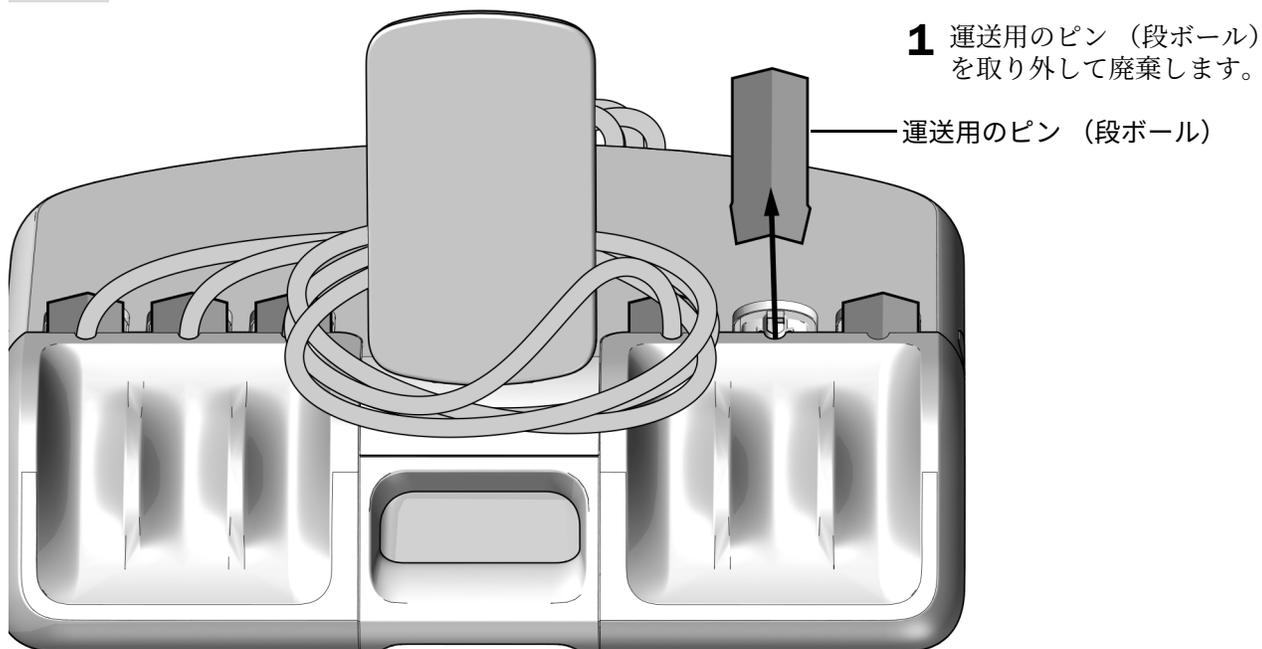
手順 7.



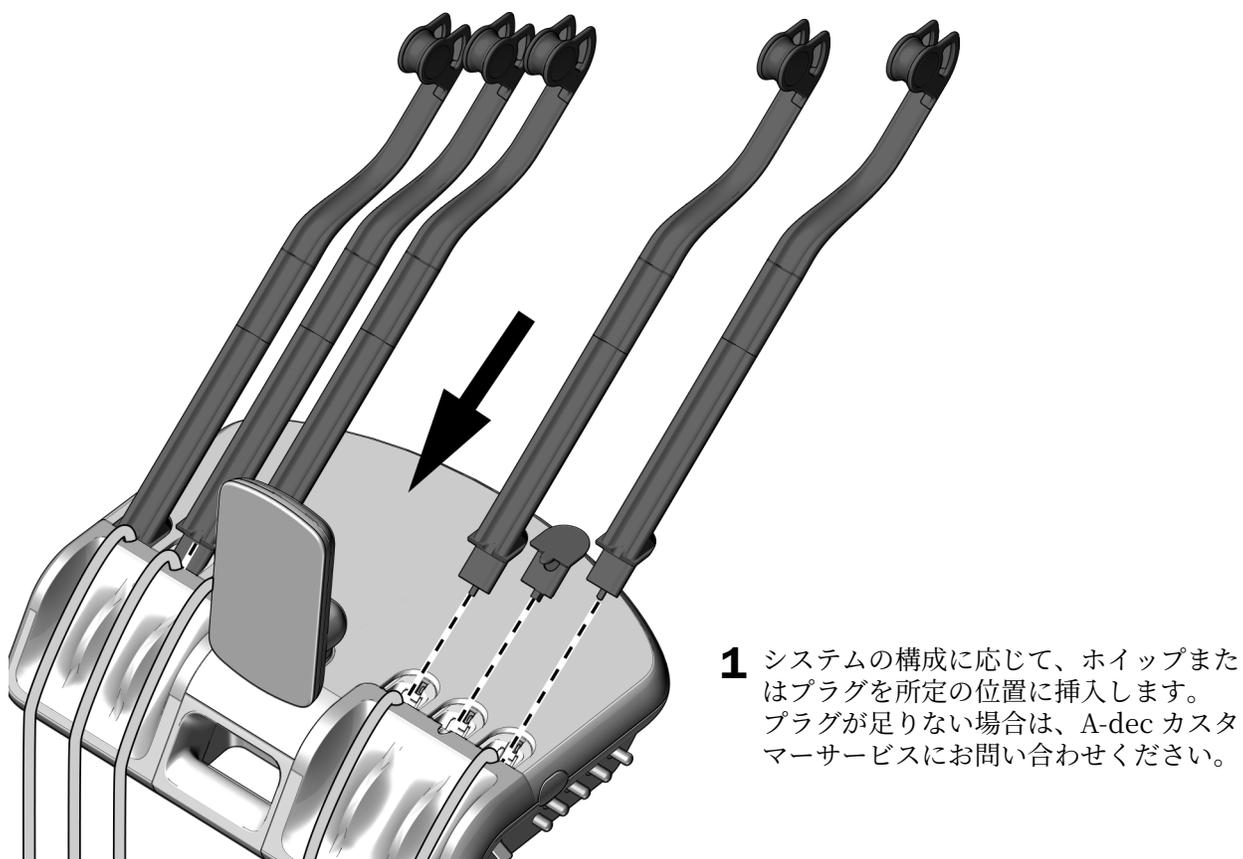
- 1** ループの後ろを通るようにすべてを配線し、リフトアームに沿って下ろします。  
ワイヤーおよびケーブル、データ回線を左寄りに、チューブを右寄りに配線します。
- 2** シートフレームから木製のブロックを取り外します。

## Continental ホイップの取り付け (A-dec 533B/533pro のみ)

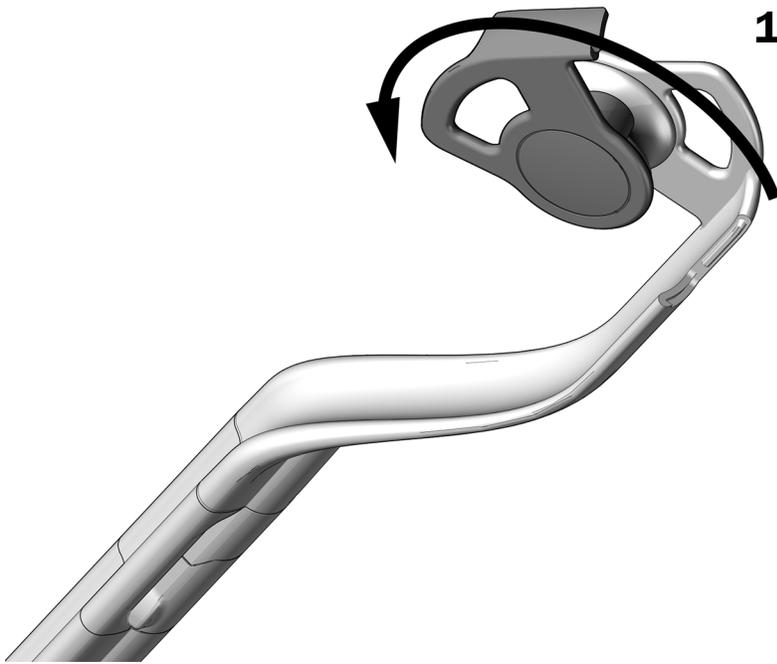
### 手順 1.



### 手順 2.

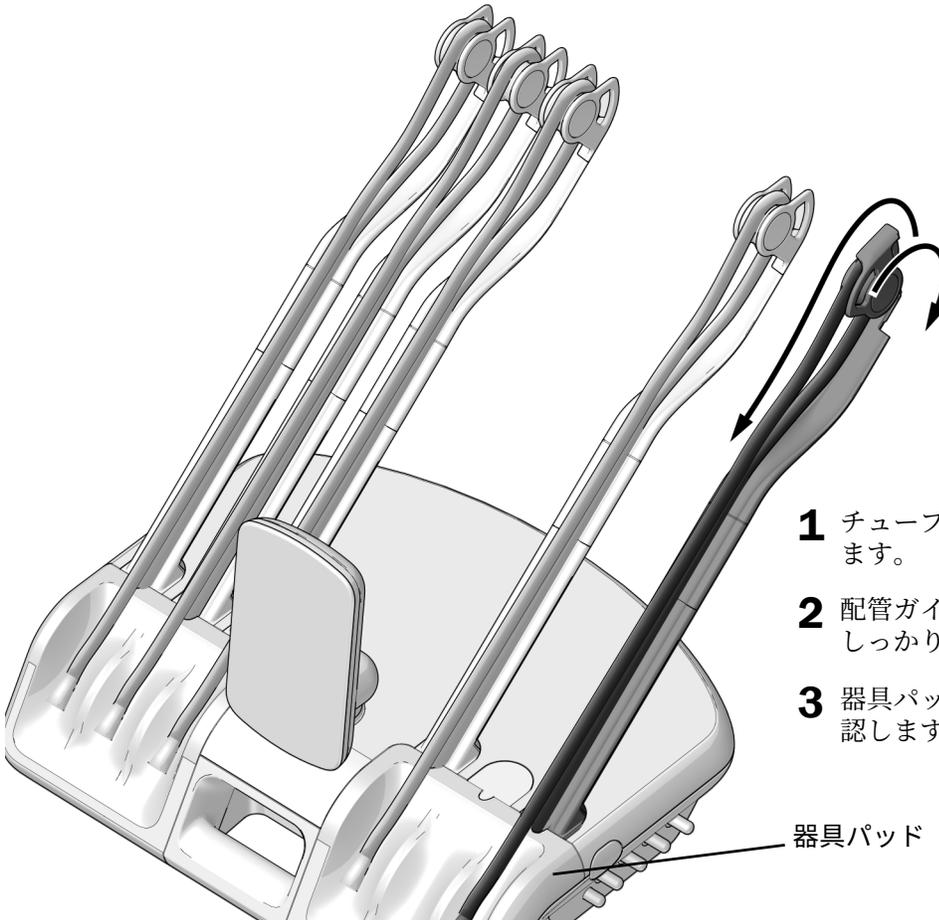


**手順 3.**



- 1** ホイップを開くには、配管ガイドを回転させて持ち上げます。

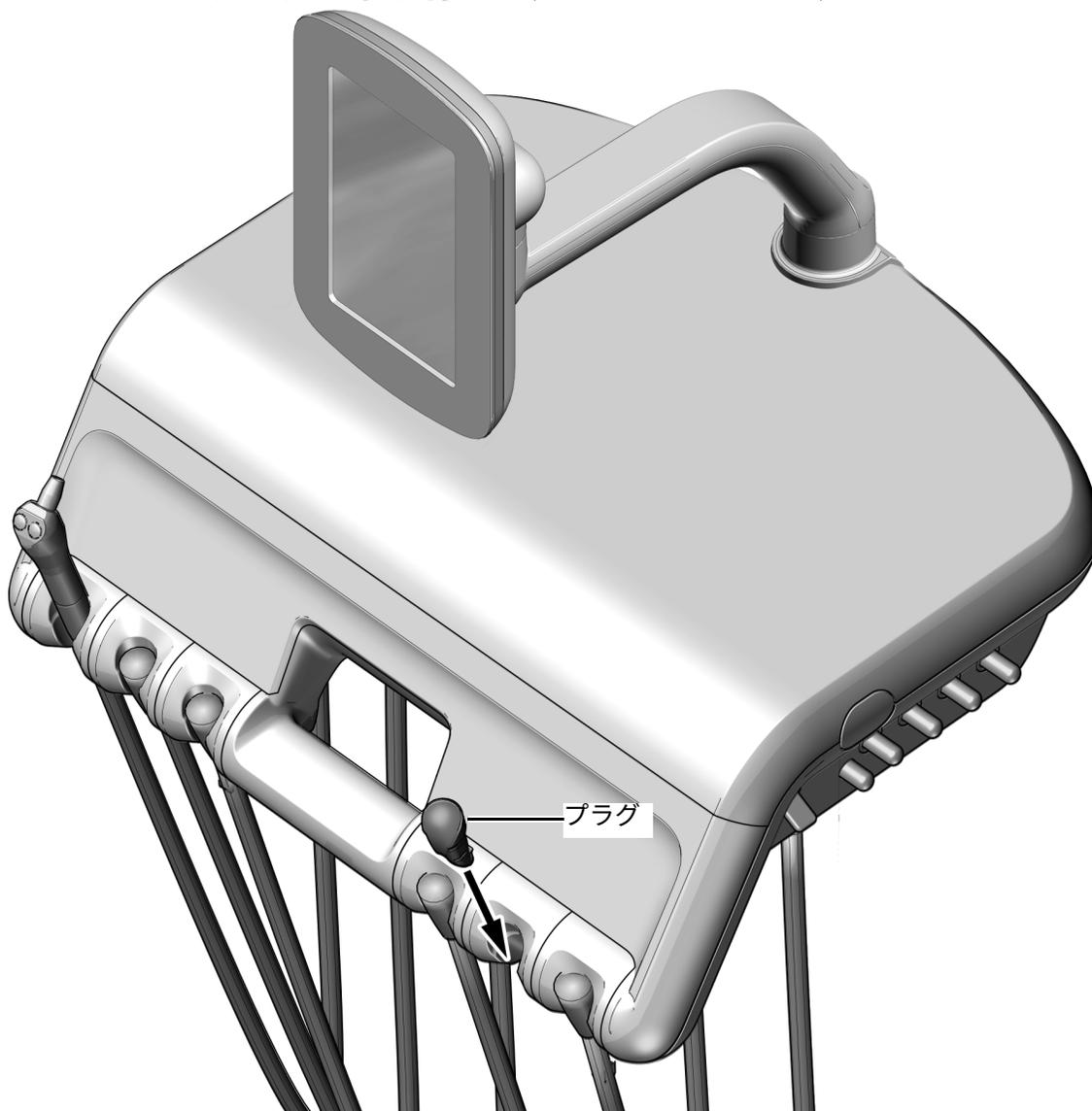
**手順 4.**



- 1** チューブをホイップアセンブリに通します。
- 2** 配管ガイドを閉じ、カチッと音がしてしっかりと閉まったことを確認します。
- 3** 器具パッドが適切な位置にあることを確認します。

器具パッド

## Traditional プラグの取り付け (Traditional のみ)



- 1** チューブが配置されないポジションには、プラグを挿入します。  
プラグが足りない場合は、A-dec カスタマーサービスにお問い合わせください。

## トレイ・ホルダーマウント（オプション）の取り付け

上部トレイ・ホルダーマウントの取り付け手順は、左側と右側のどちらでも同じです。

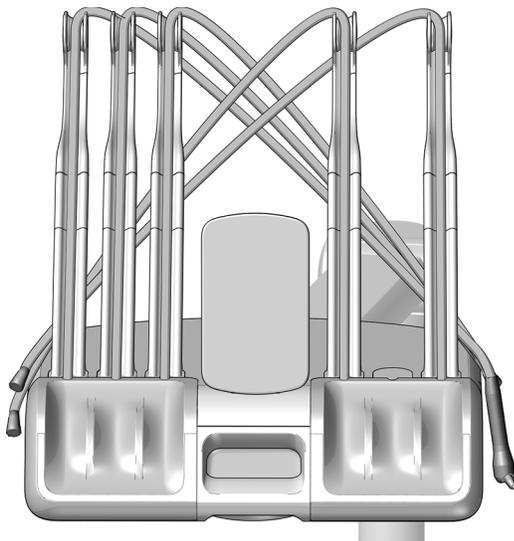
### 推奨する工具

- プラスドライバー
- 5/32 インチの六角レンチ



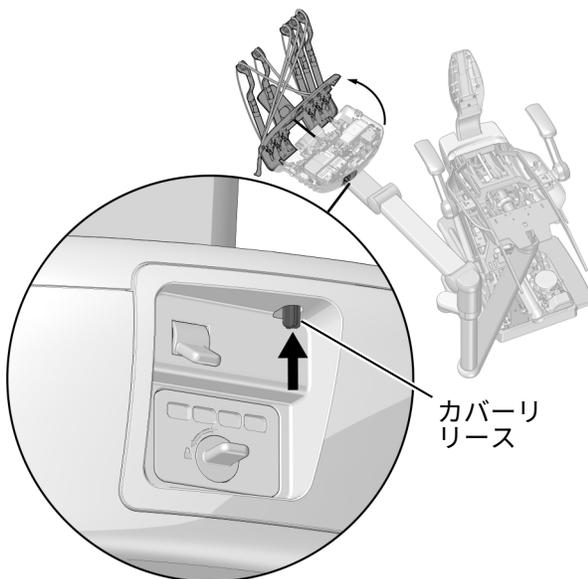
**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。

### 手順 1. Continental デリバリーシステムのみ



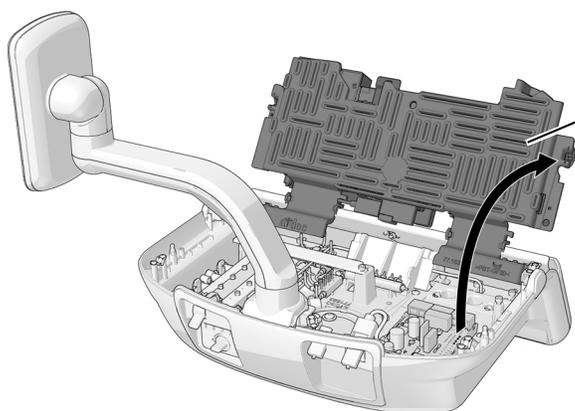
- 1** カバーが開いている間にシリンジやハンドピースが損傷するのを避けるため、各チューブはコントロールヘッドの反対側にあるホイップの裏側に配置します。

### 手順 2.



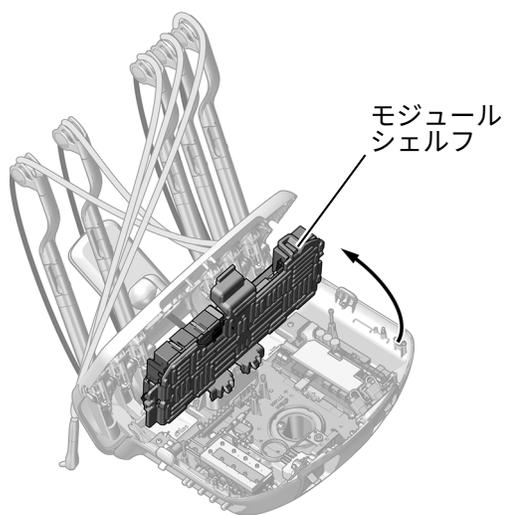
- 1** システムの電源をオフにします。
- 2** コントロールヘッドの裏面でカバーリリースを押し上げ、コントロールヘッドを開きます。

**手順 3.**



モジュール  
シェルフ

Traditional デリバリーシステム



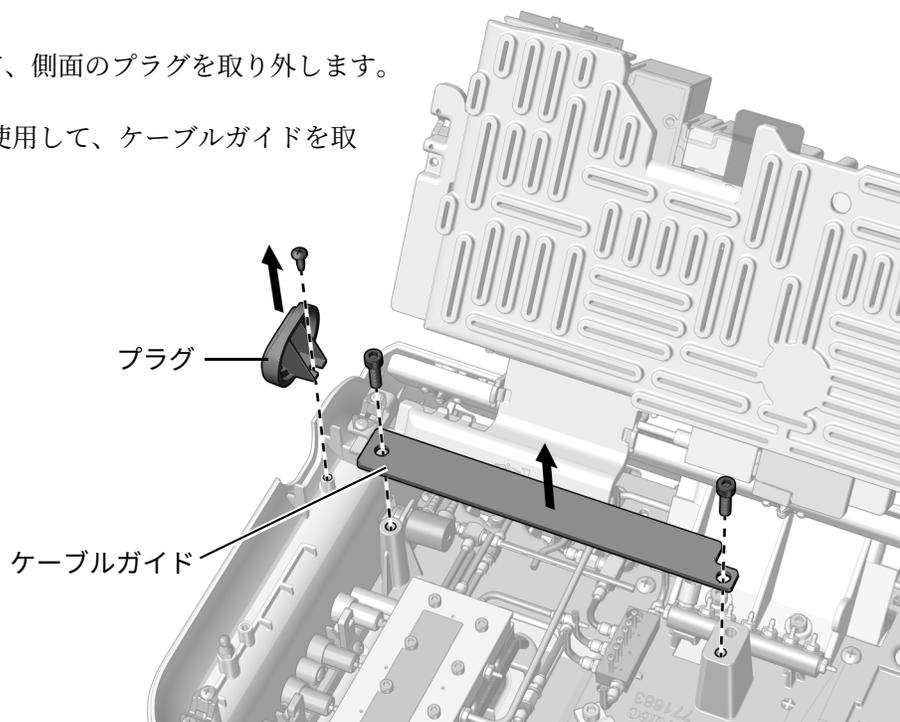
モジュール  
シェルフ

Continental デリバリーシステム

- 1** モジュールシェルフを持ち上げます。

**手順 4.**

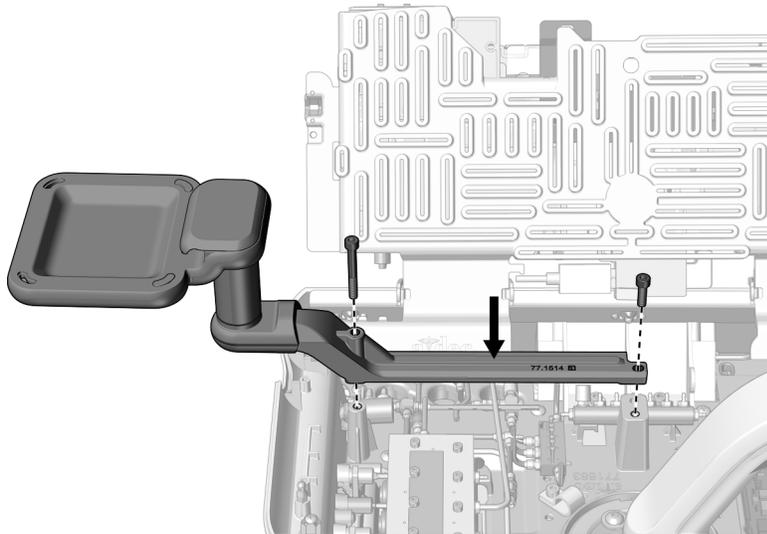
- 1** プラスドライバーを使用して、側面のプラグを取り外します。
- 2** 5/32 インチの六角レンチを使用して、ケーブルガイドを取り外します。



プラグ

ケーブルガイド

## 手順 5.



**注意** トレイ・ホルダーマウントを取り付ける際は、マウントとコントロールヘッドの間のワイヤーやチューブを挟まないよう注意してください。

- 1** すべてのチューブやワイヤーがトレイ・ホルダーマウントの下を通るようにします。
- 2** 六角レンチと2本のネジを使用して、マウントをコントロールヘッドに固定します。

## 下部トレイ・ホルダーマウント（Continentalのみ、オプション）の取り付け

## 推奨する工具

- 5/32 インチの六角レンチ



- 1** 六角レンチと3本の取付ネジを使用して、トレイ・ホルダーマウントをコントロールヘッド底部に取り付けます。

## ワイヤーとデータ回線の接続



**注記** 回路基板は静電気の影響を受けやすい部品です。回路基板に触れる場合、あるいは回路基板への接続または回路基板からの接続を行う場合は、静電放電（ESD）対策が必要です。回路基板の取り付けは、必ず電気技師または適切な資格を持った整備担当者が行ってください。



**警告** この手順を開始する前に電源をオフにしないと、製品の損傷や、重傷または死亡事故につながるおそれがあります。



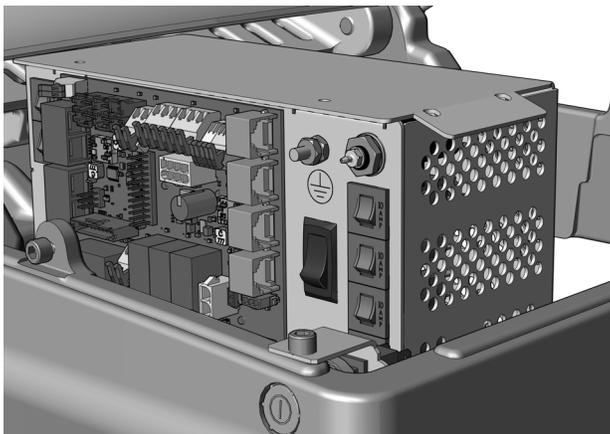
**注意** ワイヤーやチューブの損傷、外れを防ぐため、接続作業はすべてのシステムモジュールの取り付け完了後に行ってください。



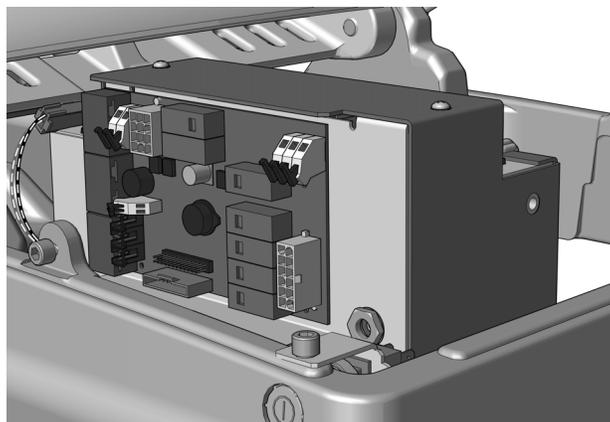
**注** 電源装置の上部にチェアの回路基板用の電気接続図が表示されています。

### 1. チェアの電源をオフにします。

デリバリーシステムに備わっている電源装置に応じて、このセクションの手順を実行してください。



2023年6月以降に製造されたA-decユニバーサル電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続 ..... 21



2023年6月以前に製造されたA-dec 511電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続 ..... 23

## 2023年6月以降に製造された A-dec ユニバーサル電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec ユニバーサル電源装置への 532pro/533pro のワイヤーとデータ回線の接続 ..... 21

A-dec ユニバーサル電源装置への 532B/533B のワイヤーとデータ回線の接続 ..... 22

### A-dec ユニバーサル電源装置への 532pro/533pro のワイヤーとデータ回線の接続

#### 推奨する工具

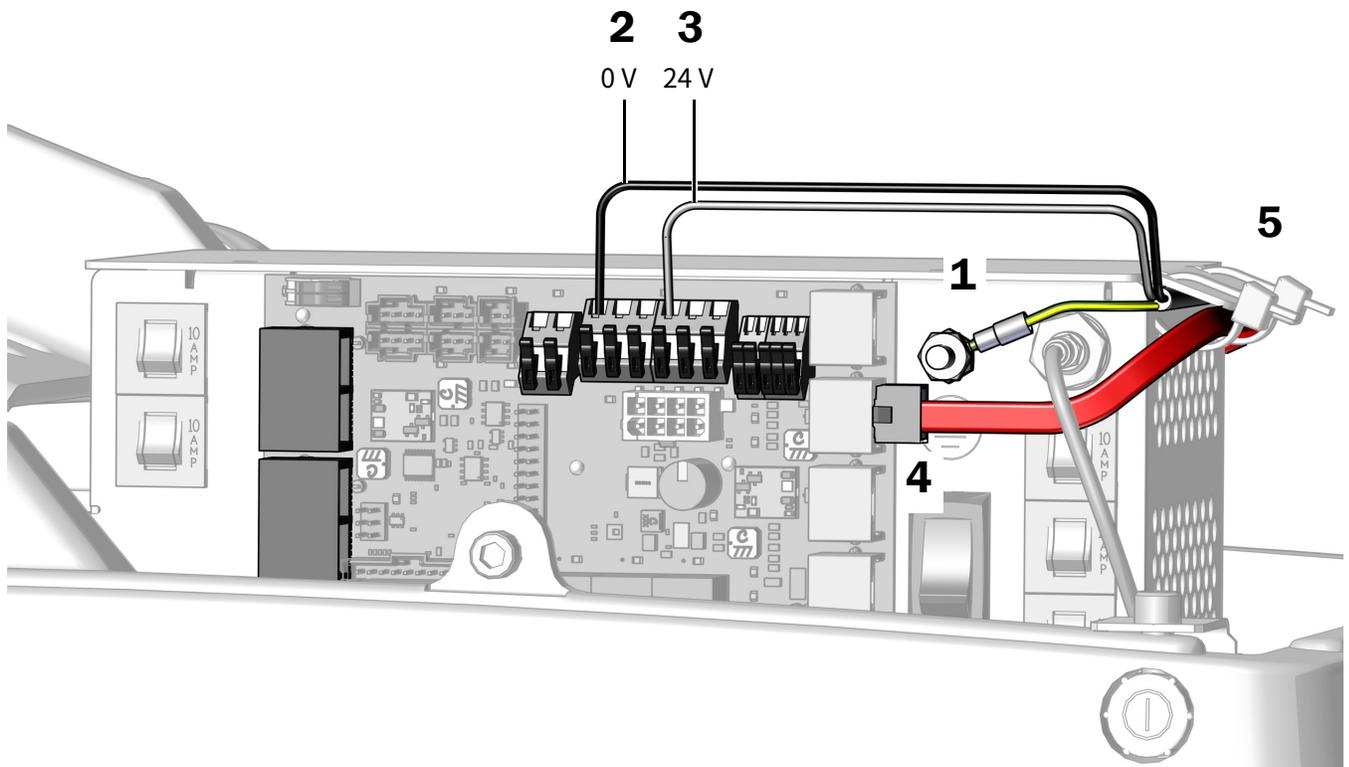
- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒のワイヤーを 0 V ワイヤーコネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 V ワイヤーコネクタに接続します。



**注** 必要に応じて、1つの端子に複数のワイヤーを接続することができます。

4. 赤の DCS2 データ回線をチェアへの足側にあるポートに差し込みます。
5. システムモジュールのすべての電気接続が完了したら、ワイヤーと赤の DCS2 データ回線を電源装置の緑の下に固定します。



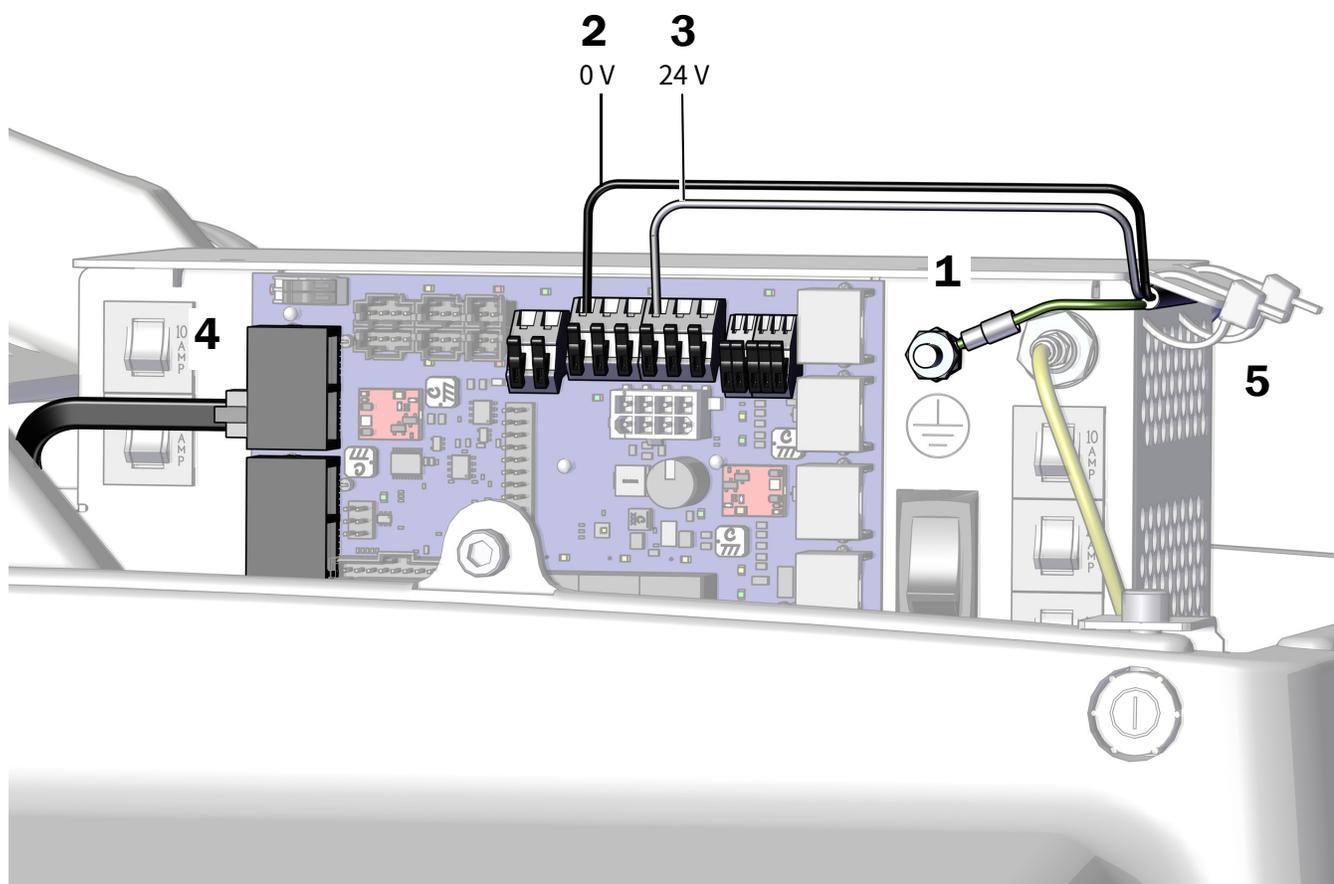
#### 次のステップ

26 ページの「Ethernet ケーブルの接続 (532pro/533pro のみ、オプション)」を参照してください。

## A-dec ユニバーサル電源装置への 532B/533B のワイヤーとデータ回線の接続 推奨する工具

- 3/8 インチのコンビネーション・レンチ
- 斜ニッパー

1. デリバリーシステムのアース線を接続します。
2. デリバリーシステムのケーブルの黒のワイヤーを 0 V ワイヤークネクタに接続します。
3. デリバリーシステムのケーブルのグレーのワイヤーを 24 V ワイヤークネクタに接続します。
4. 黒の DSC データ回線をチェアー側のいずれかのポートに差し込みます。
5. ケーブル留めを使用して、デリバリーシステムのケーブルを電源装置の縁の下に固定します。



**次のステップ** 26 ページの「Ethernet ケーブルの接続（532pro/533pro のみ、オプション）」を参照してください。

## 2023年6月以前に製造された A-dec 511 電源装置へのワイヤーとデータ回線の接続

システムの構成に適した手順を実行してください。

A-dec 511 電源装置への 532pro/533pro のワイヤーとデータ回線の接続 ..... 23

A-dec 511 電源装置への 532B/533B のワイヤーとデータ回線の接続 ..... 25

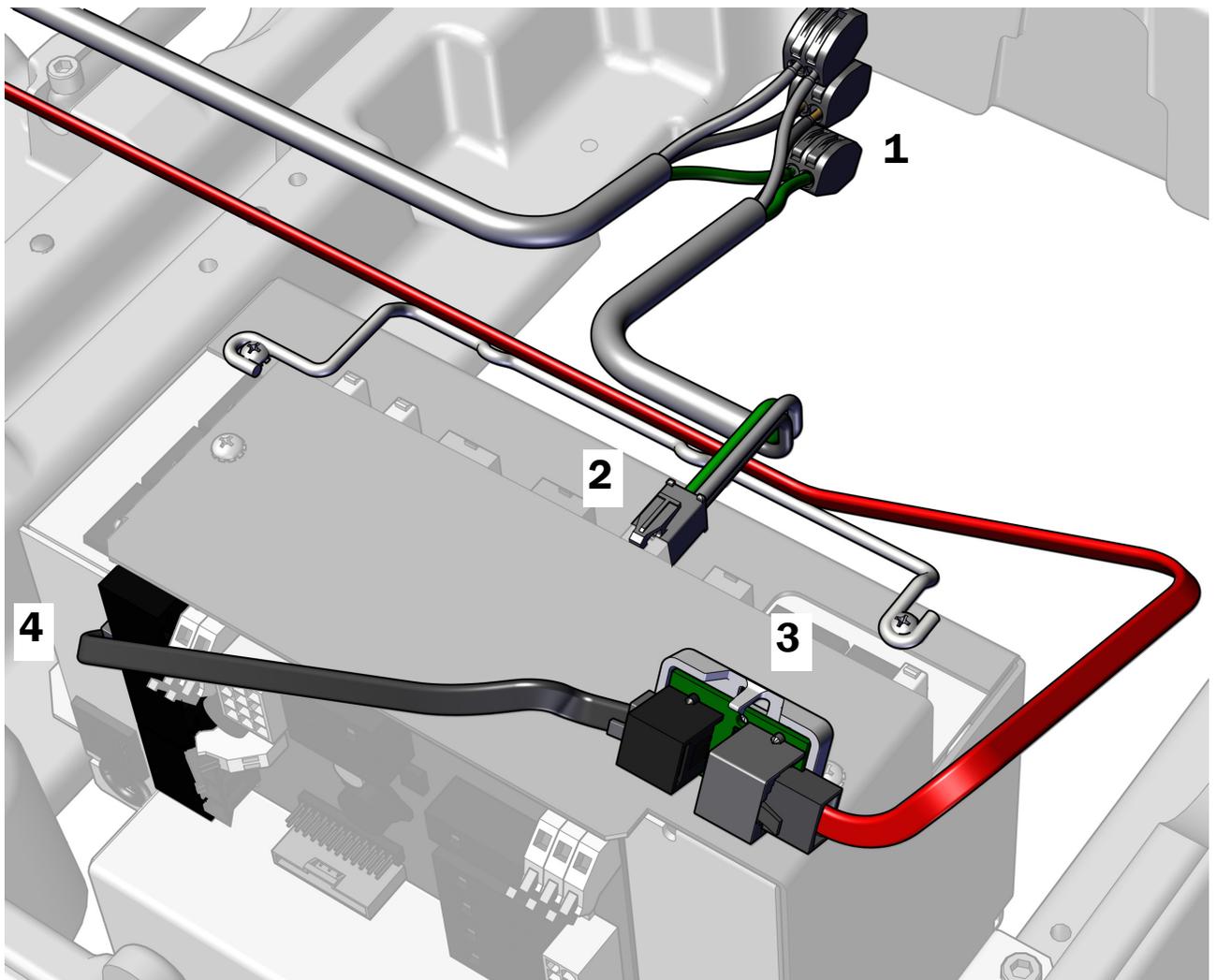
### A-dec 511 電源装置への 532pro/533pro のワイヤーとデータ回線の接続

#### 推奨する工具

- 斜ニッパー

#### 手順 1.

1. ワイヤーコネクタを使用して、デリバリーシステムのケーブルの電源ワイヤーを、電源コネクタケーブルの対応する電源ワイヤーに接続します。
2. 電源コネクタをコンセントに接続します。
3. グレーの DCS2 ポートがチェアの足側を向くように中継基板を配置し、赤の DCS2 データ回線をグレーのポートに、黒の DCS1 データ回線を黒のポートにそれぞれ接続します。
4. 中継基板の黒いポートから、黒の DCS1 データ回線を電源装置のポートに接続します。



## 手順 2.

1. 中継基板に付いている保護紙をはがします。



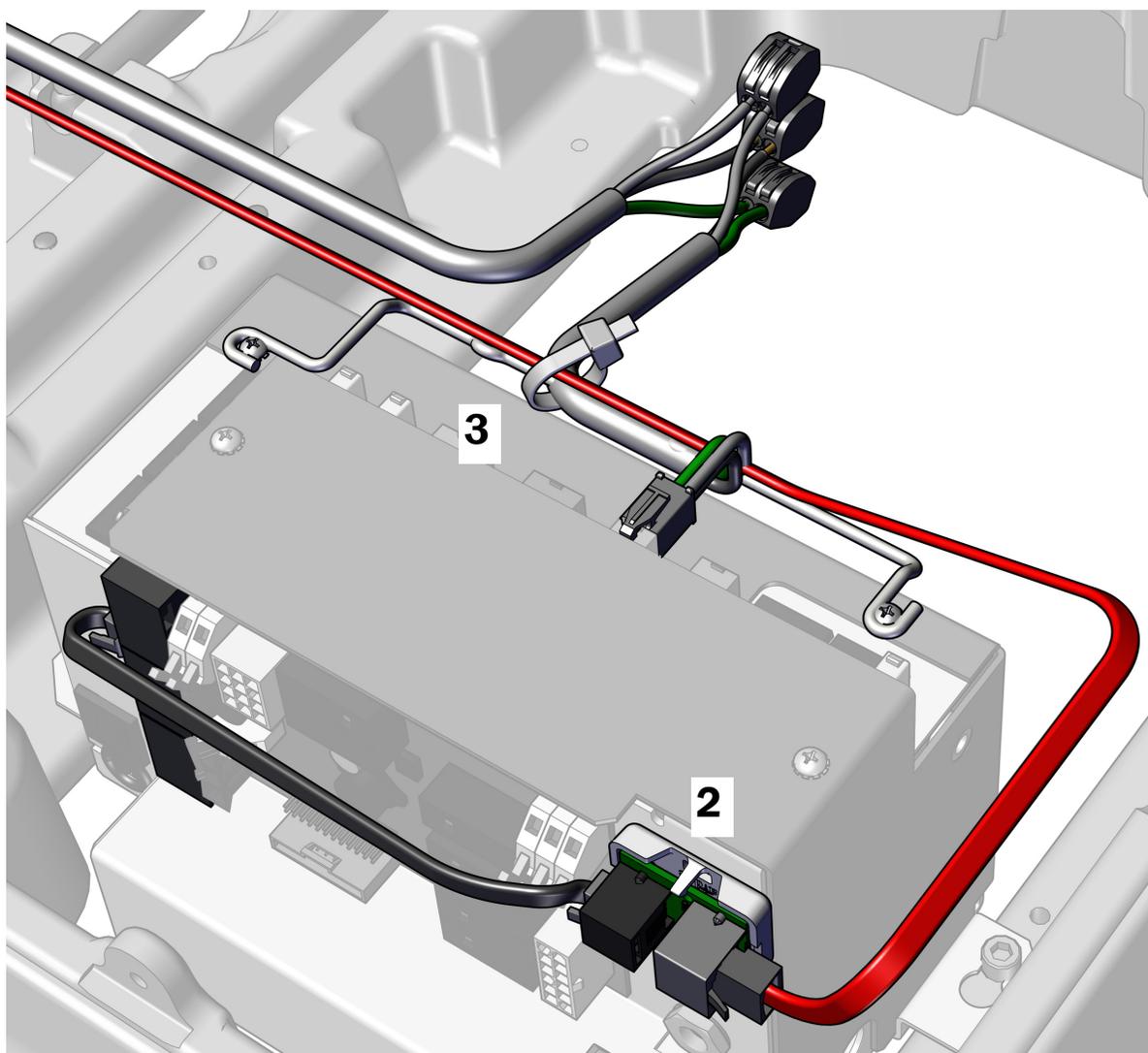
**注意** 他の装置への損傷や干渉を防ぐため、中継基板は必ずこの位置に取り付けてください。

2. 中継基板を電源装置（チェアの足側を向いている方）に取り付けます。



**注** 電源装置にすでに発光ダイオード（LED）ライト用のアダプター基板が取り付けられている場合は、その下に中継基板を重ねてください。

3. すべてのモジュールを電源装置に接続したら、ワイヤーをベイルに固定します。



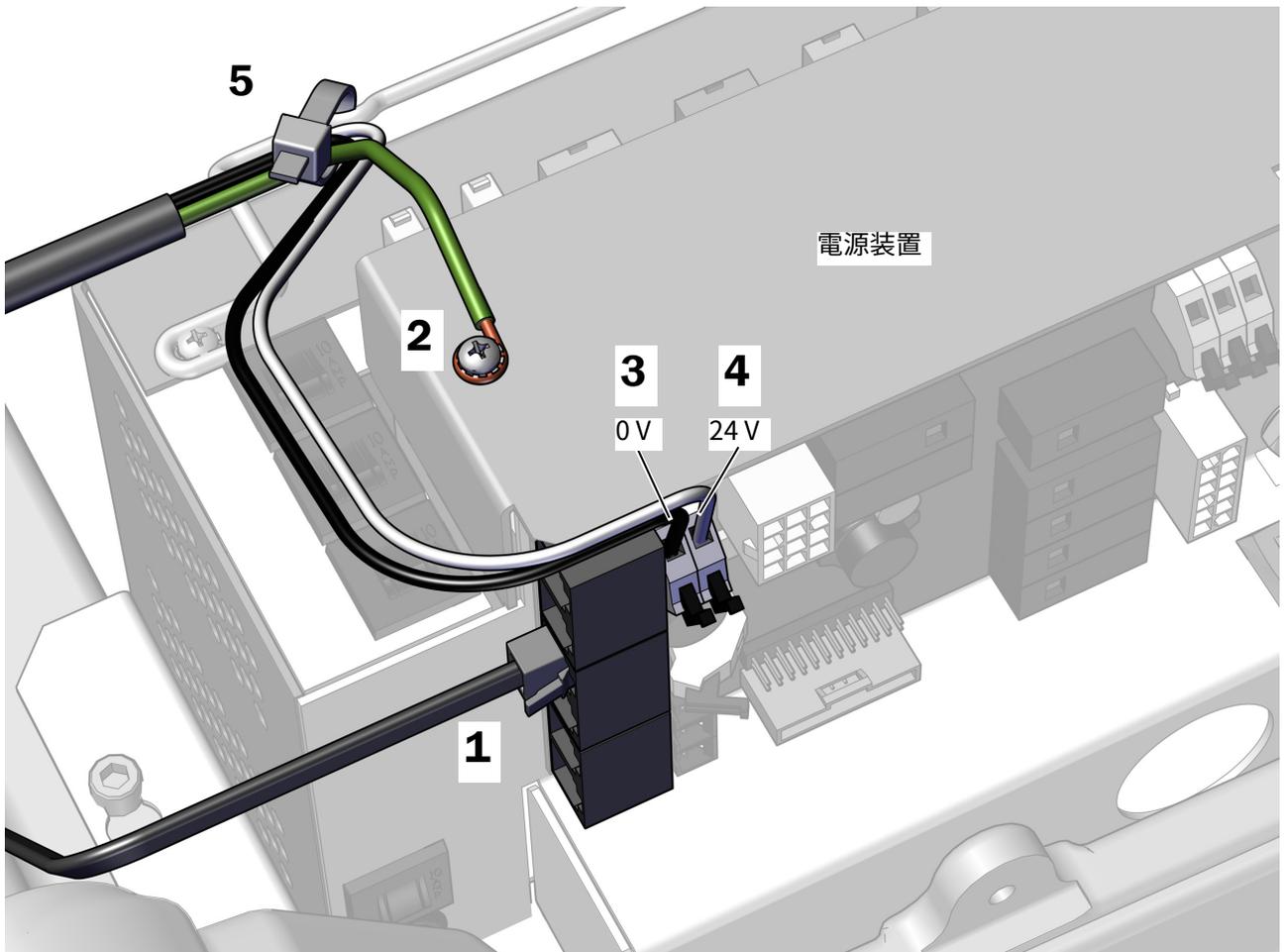
**次のステップ** 26 ページの「Ethernet ケーブルの接続（532pro/533pro のみ、オプション）」を参照してください。

## A-dec 511 電源装置への 532B/533B のワイヤーとデータ回線の接続

### 推奨する工具

- プラスドライバー
- 斜ニッパー

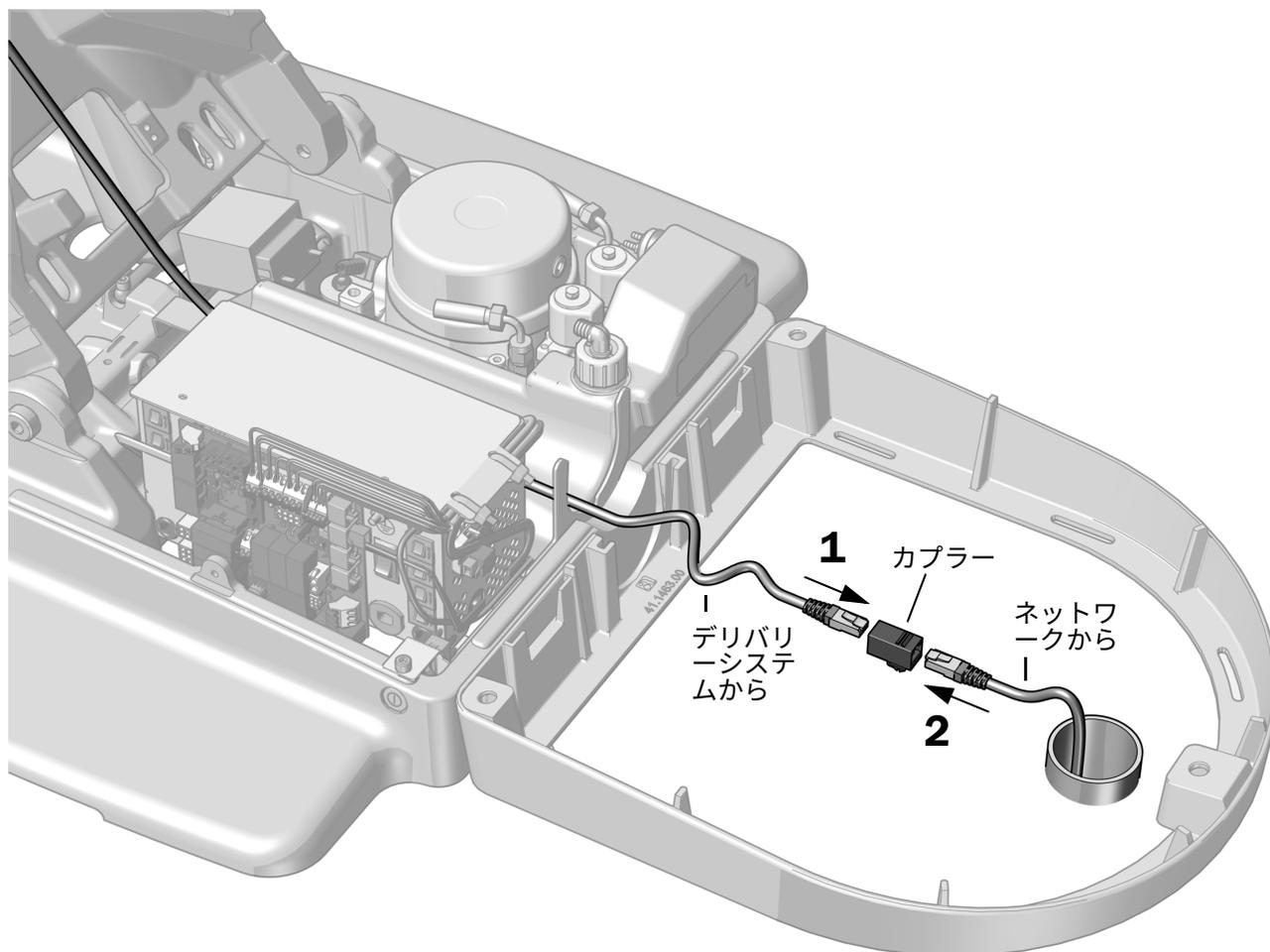
1. データ回線をいずれかのデータポートに差し込みます。
2. アース線を電源装置の支柱に取り付けます。
3. 黒のワイヤーを 0V に接続します。
4. グレーのワイヤーを 24V に接続します。
5. ケーブル留めで電源ケーブルをベイルに固定します。



## Ethernet ケーブルの接続 (532pro/533pro のみ、オプション)

システムが A-dec+™ を使用しており、Wi-Fi 経由でインターネットに接続されていない場合は、同梱のキットに付属のカプラーを使用して、デリバリーシステムから診療所のネットワークに Ethernet ケーブルを接続します。

1. デリバリーシステムの Ethernet ケーブルをカプラーに接続します。
2. 診療所のネットワークからフロアボックスに向かう Ethernet ケーブルをカプラーに接続します。



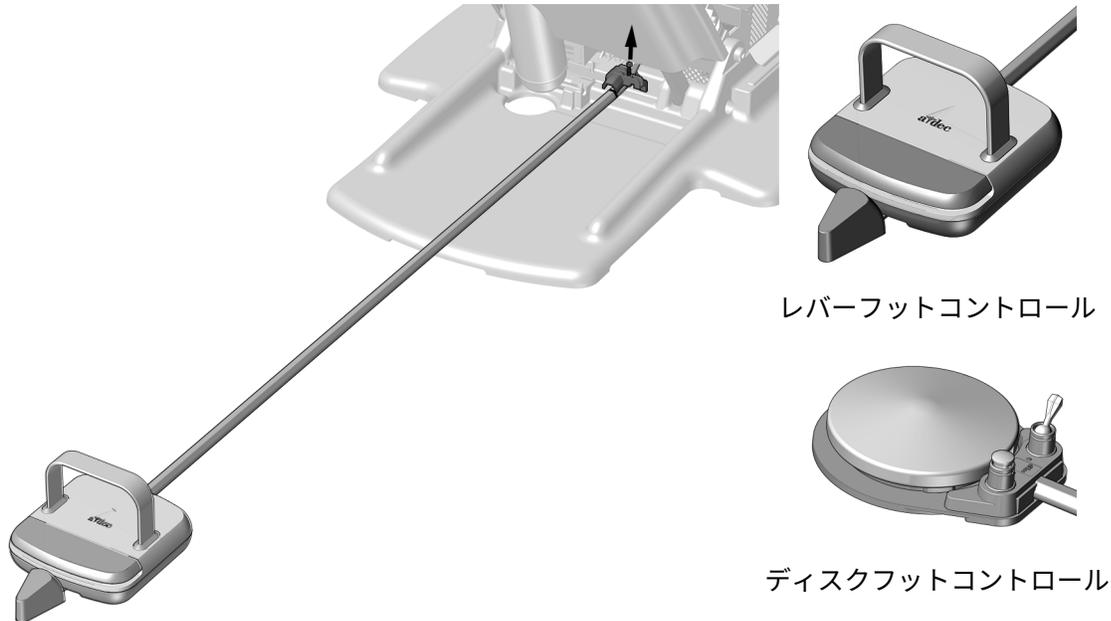
## チューブの接続

### フットコントロールの取り付け

#### 推奨する工具

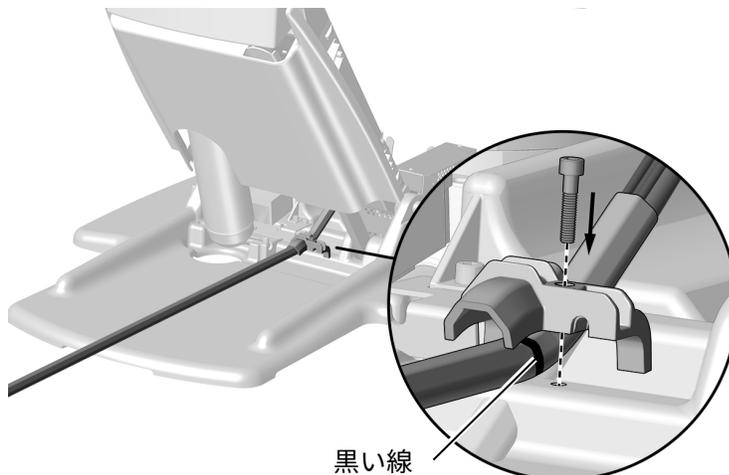
- 3/16 インチの六角レンチ

#### 手順 1.



- 1 3/16 インチの六角レンチを使用して、張力緩和装置を取り外します。
- 2 チェアの背面側から、張力緩和装置の上とチェア正面を通るようにフットコントロールチューブを引きます。

#### 手順 2.



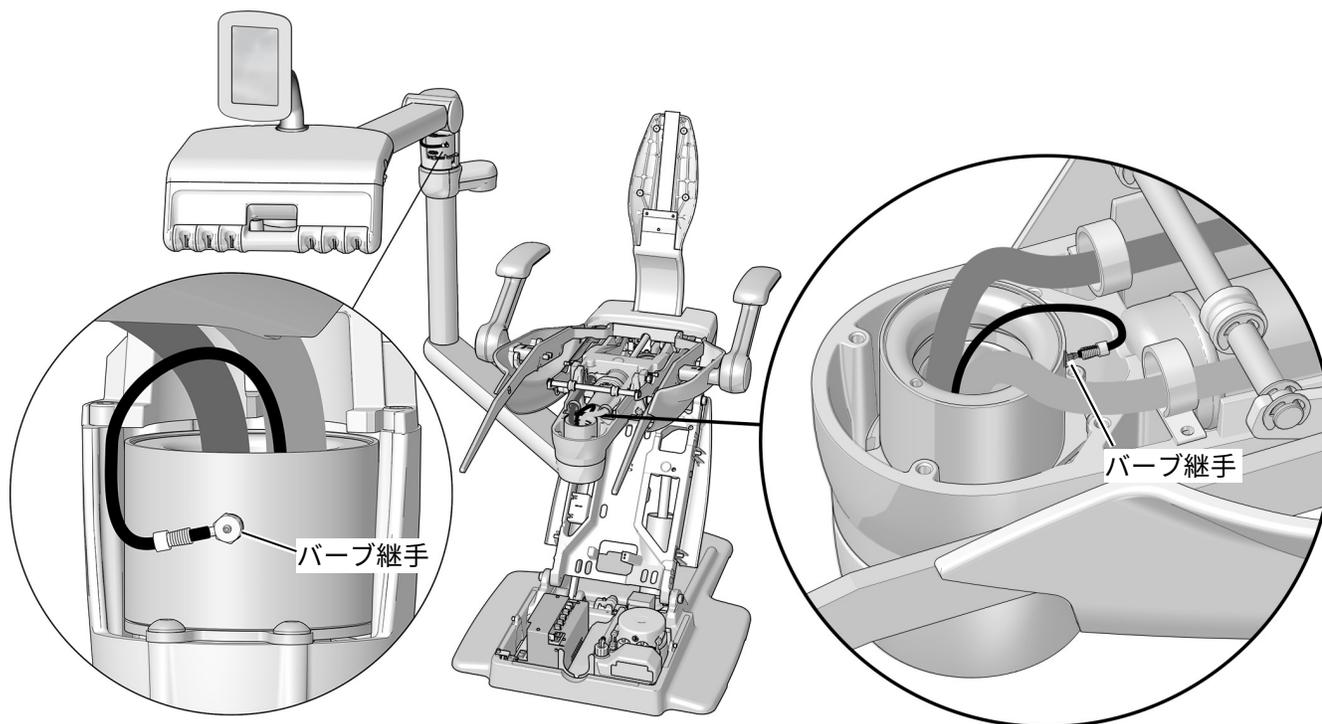
**!** 注 適切に配置できるように、フットコントロールチューブの隆起部を上に向け、張力緩和装置の溝に合わせてください。

- 1 ポンプ部およびチェアの後ろのチューブ量を適切に保つため、チェアベースの接続用に約 33 cm (13 インチ) のチューブが提供されるように配置します。
- 2 3/16 インチの六角レンチを使用して張力緩和装置を取り付け、フットコントロールチューブを固定します。

## ブレーキチューブの接続

### 推奨する工具

- スリーブプッシャー
- 斜ニッパー



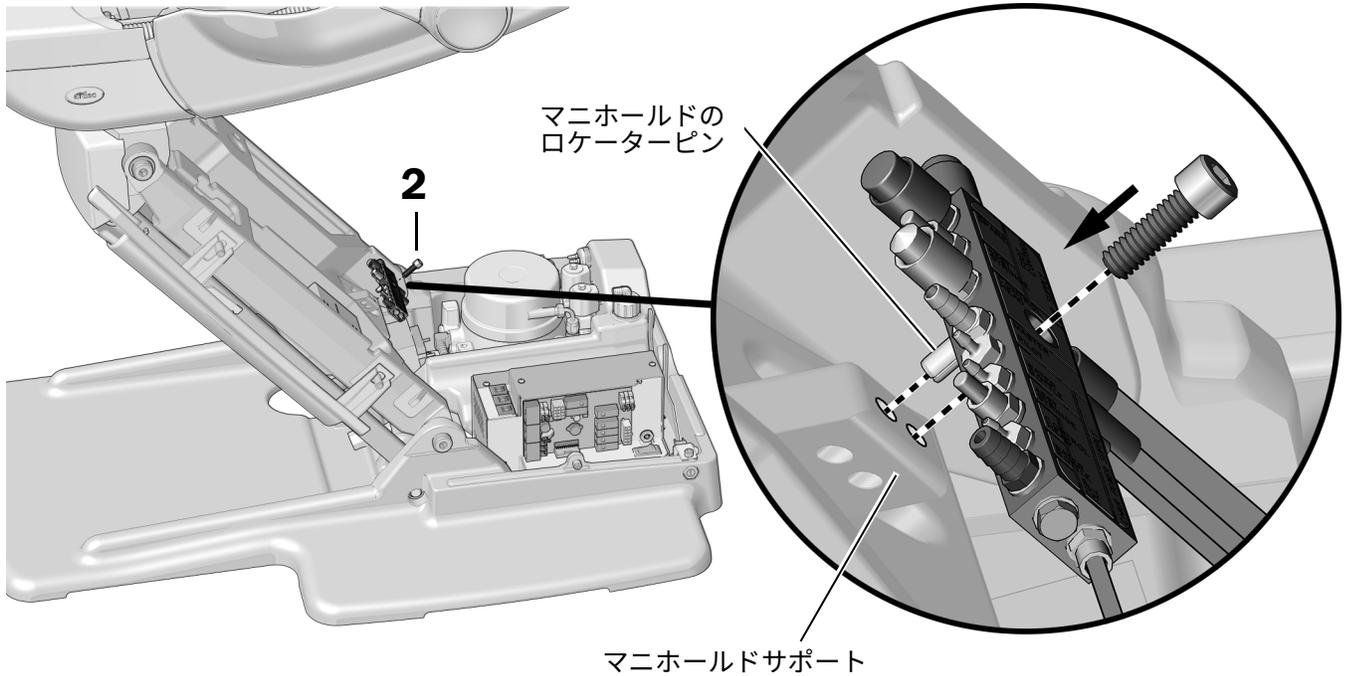
**1** フレックスアームと固定アームが接する位置にあるバーブ継手にチューブを接続します。

**2** チェアアの頭側に面している正面取付部のバーブ継手にチューブを接続します。

## マニホールドの取り付け

### 推奨する工具

- 3/16 インチの六角レンチ

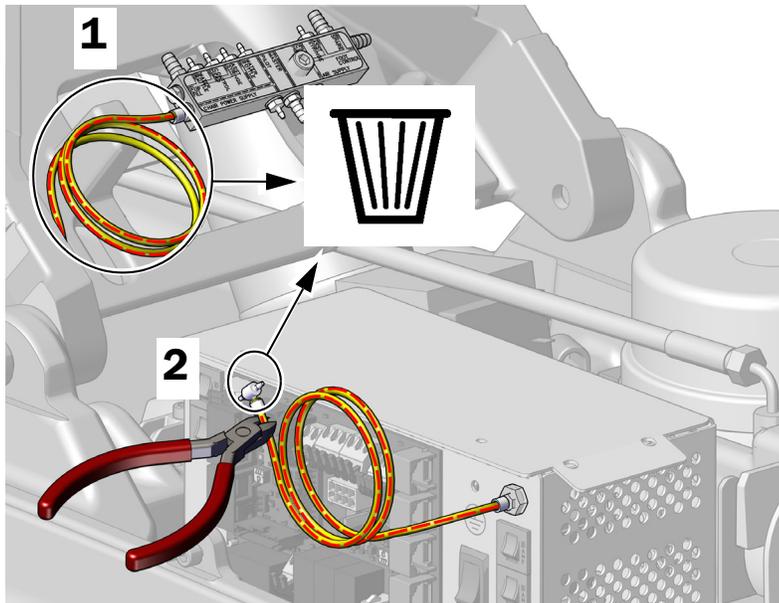


- 1** リフトアームのマニホールドサポートの穴に、マニホールドのロケーターピン（マニホールドの背面）を差し込みます。
- 2** 六角レンチと取付ネジを使用して、マニホールドを固定します。

## 配管の準備と接続

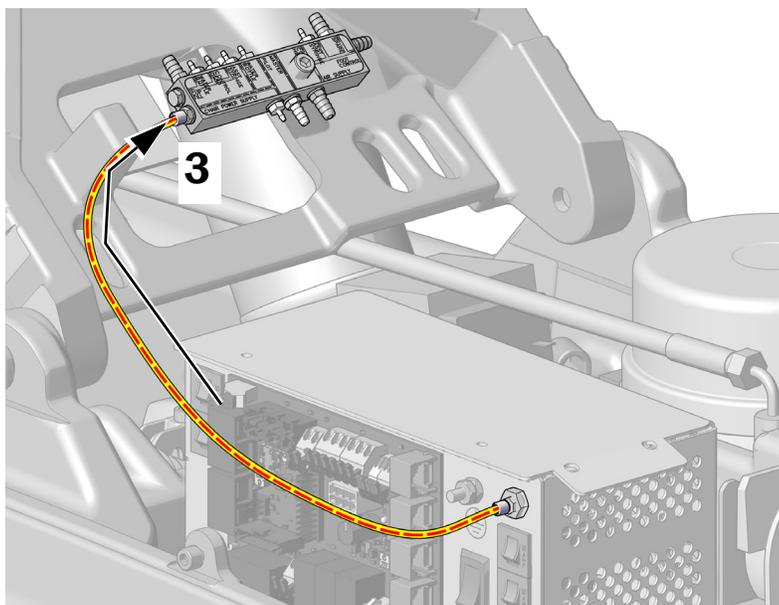
### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー



**1** マニホールドからエア制御チューブを取り外し、廃棄します。

**2** 電源装置に接続されているエア制御チューブからT字管を取り外し、廃棄します。



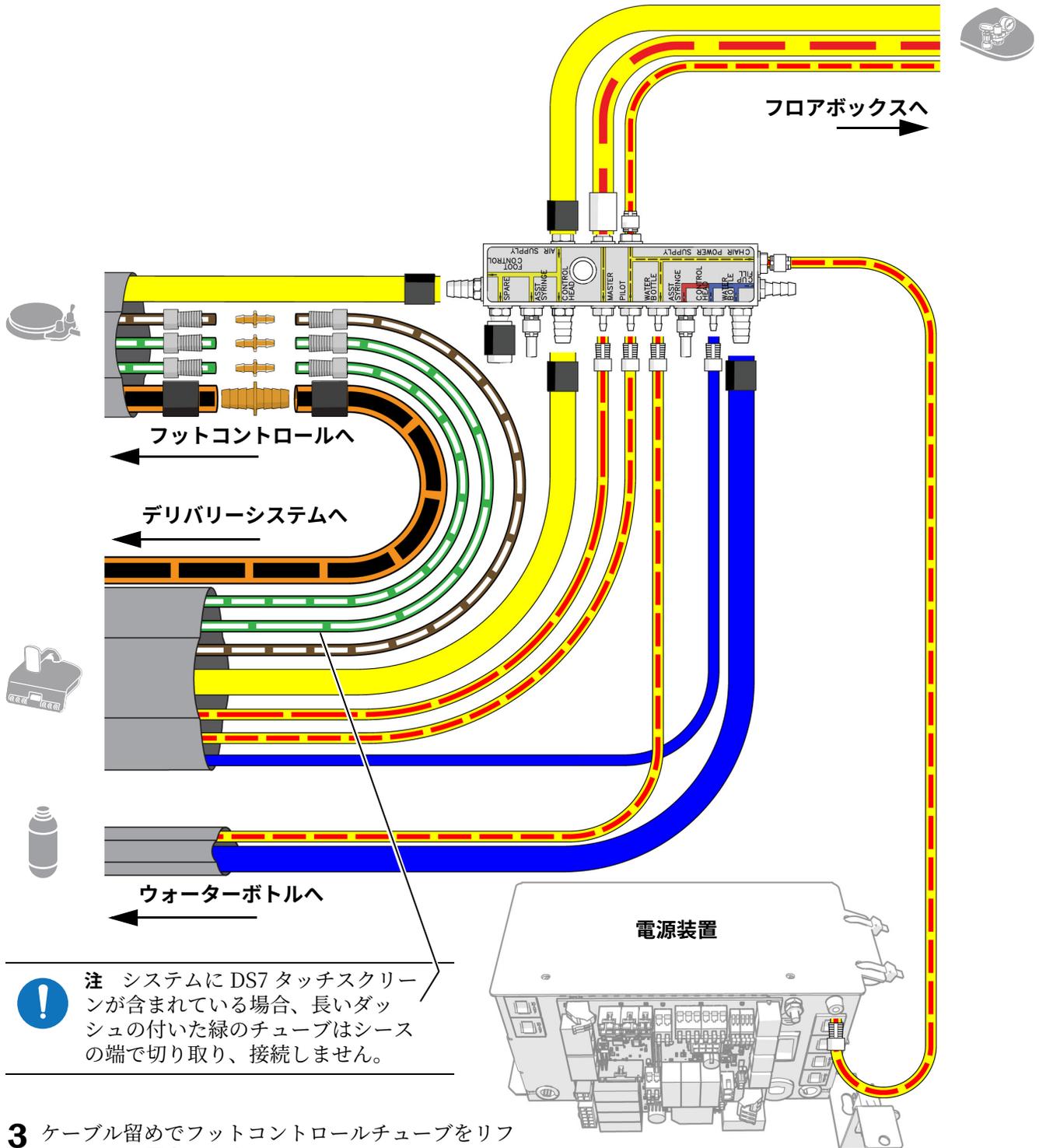
**3** スリーブとスリーブプッシャーを使用して、電源装置からマニホールドにチューブを接続します。

**4** ウォーターボットのチューブからシースを 914 mm (3 フィート) ほど取り除きます。

**5** 次のページのフローチャートに従って、すべてのモジュールのチューブを接続します。



**確認** レバーフットコントロールを接続する場合は、次のセクションではなく、フットコントロールに同梱されている設置説明書に従ってください。



**3** ケーブル留めでフットコントロールチューブをリフトアームに固定します。

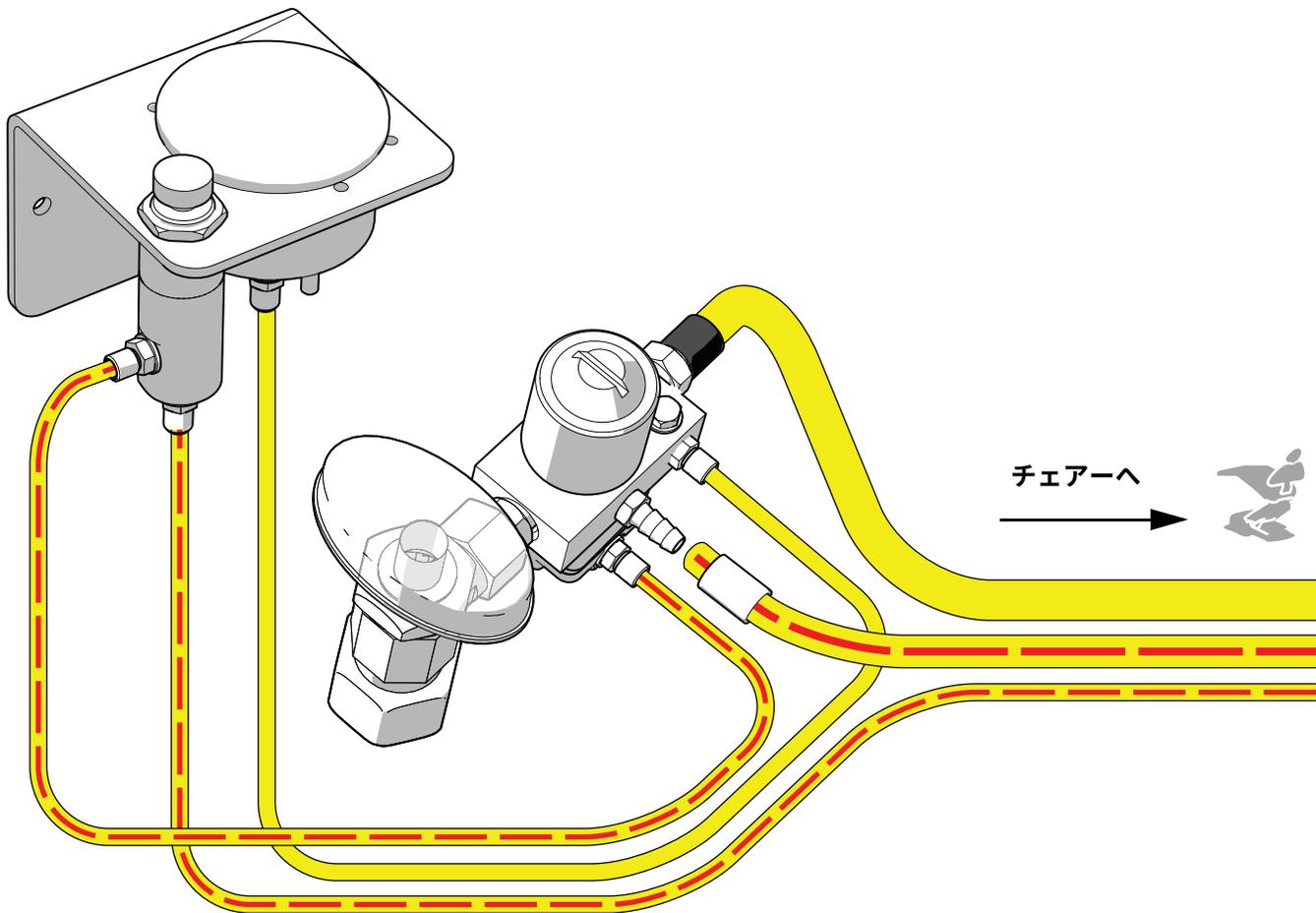
## フロアボックスユーティリティの接続

### 推奨する工具

- 斜ニッパー
- スリーブプッシャー



注 フロアボックスの取り付け手順については、『A-dec 511 歯科用椅子サービスガイド』（部品番号 (P/N) 86.0648.05) を参照してください。



注 接続が完了したら、フットコントロールチューブが油圧液リザーバの上を通っていないことを確認してください。

### 湿水分離器の取り付け（オプション）

湿水分離器の取り付けについては、湿水分離器キットに同梱されている説明書を参照してください。

## システムの準備と調整

### ワイヤーとチューブの固定

- 1 リフトアームにベイルを取り付け、すべてのワイヤーとチューブをその中に保持します。ベイルの中央を押すと取り付けやすくなります。

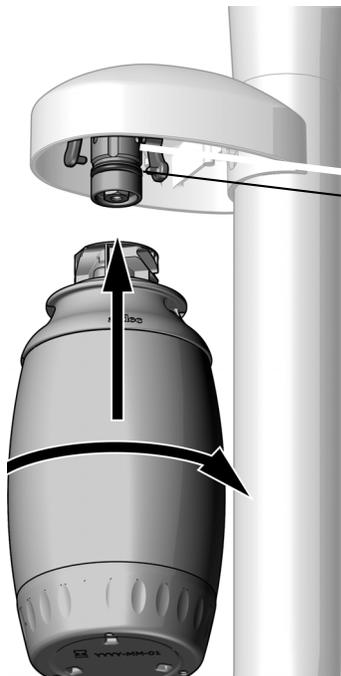
ベイル



### ウォーターボトルの取り付け



**重要** A-dec では、システムの初回使用前に、歯科チームで歯科治療ユニットウォーターラインのショックトリートメントを実行すること、また継続的なウォーターライン保守プログラムを確立することをお勧めしています。詳細については、『ウォーターライン保守ガイド』（部品番号 (P/N) 85.0983.05) および『A-dec 内蔵型給水システム使用方法』（部品番号 (P/N) 86.0609.05) を参照してください。

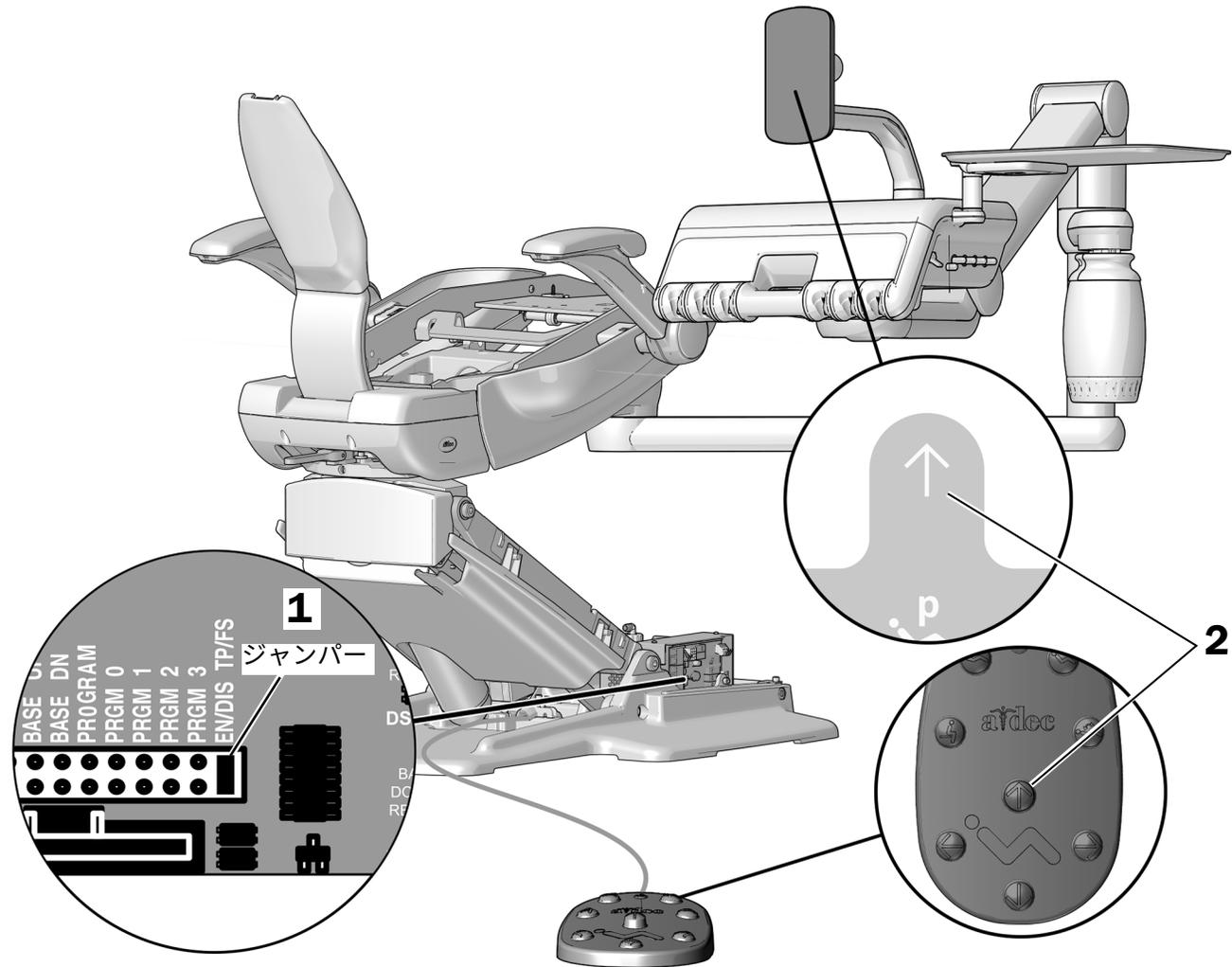


- 1 レセプタクルの O リングに A-dec シリコン潤滑油を塗布します。
- 2 ウォーターボトルを持ち上げてウォーターボトルレセプタクルに押しかぶせ、右に回転させます。

## チェアの高さの上限の設定

デリバリーシステムがキャビネットまたは壁にぶつかるおそれがある場合は、チェアの高さの上限を設定し直してチェアの前方移動を制限します。

### 手順 1.



**1** ジャンパーを [EN/DIS TP/FS] ポジションに配置します。

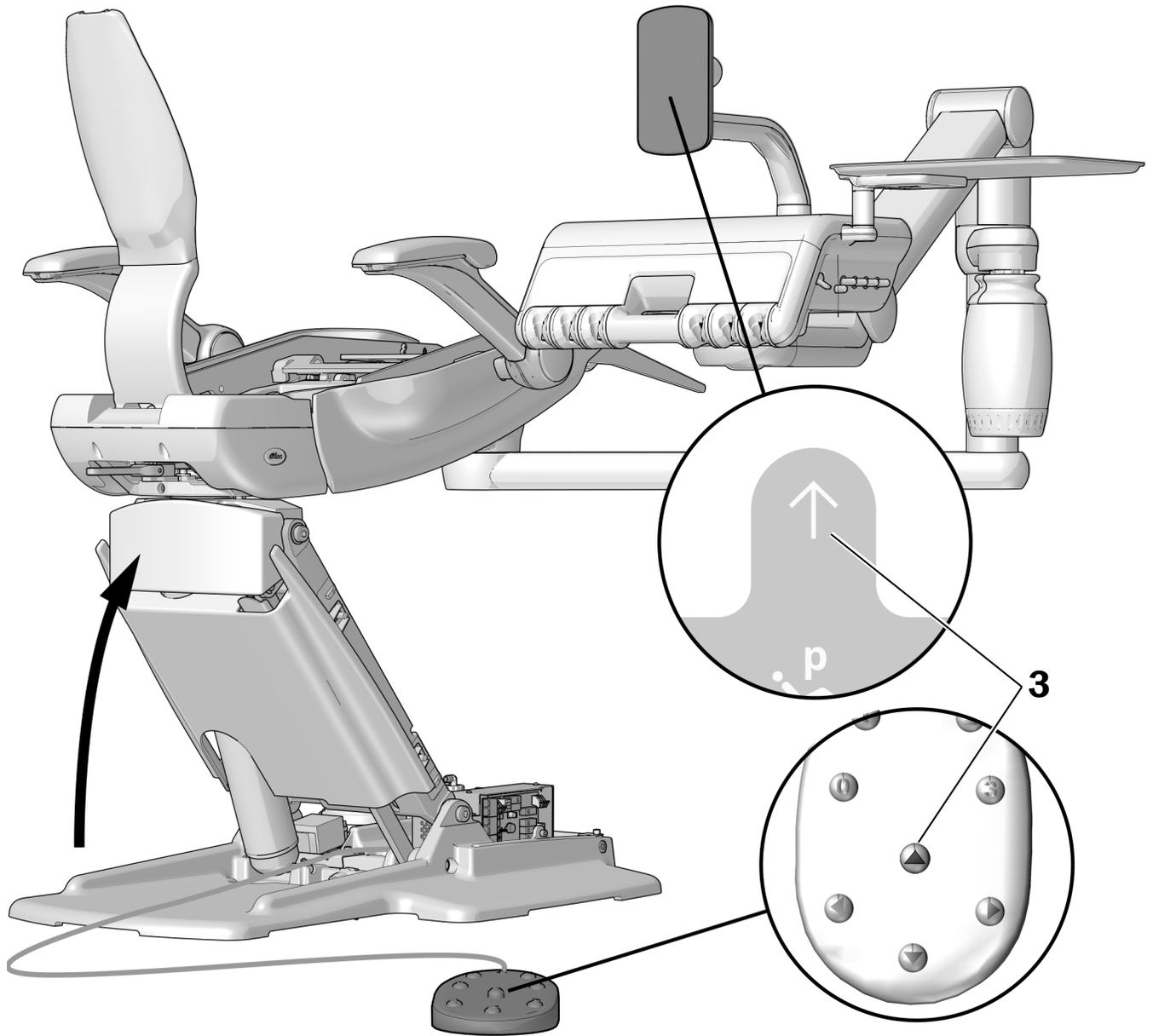


**注** テストポイントでジャンパーを使用する方法の詳細については、『チェア回路基板のテストポイントに関するリファレンス』（部品番号 (P/N) 86.0680.05) を参照してください。

**2** ビープ音が1回鳴るまで、[ベース上昇] ボタンを3秒間長押しします。これによって、初期設定が無効になります。

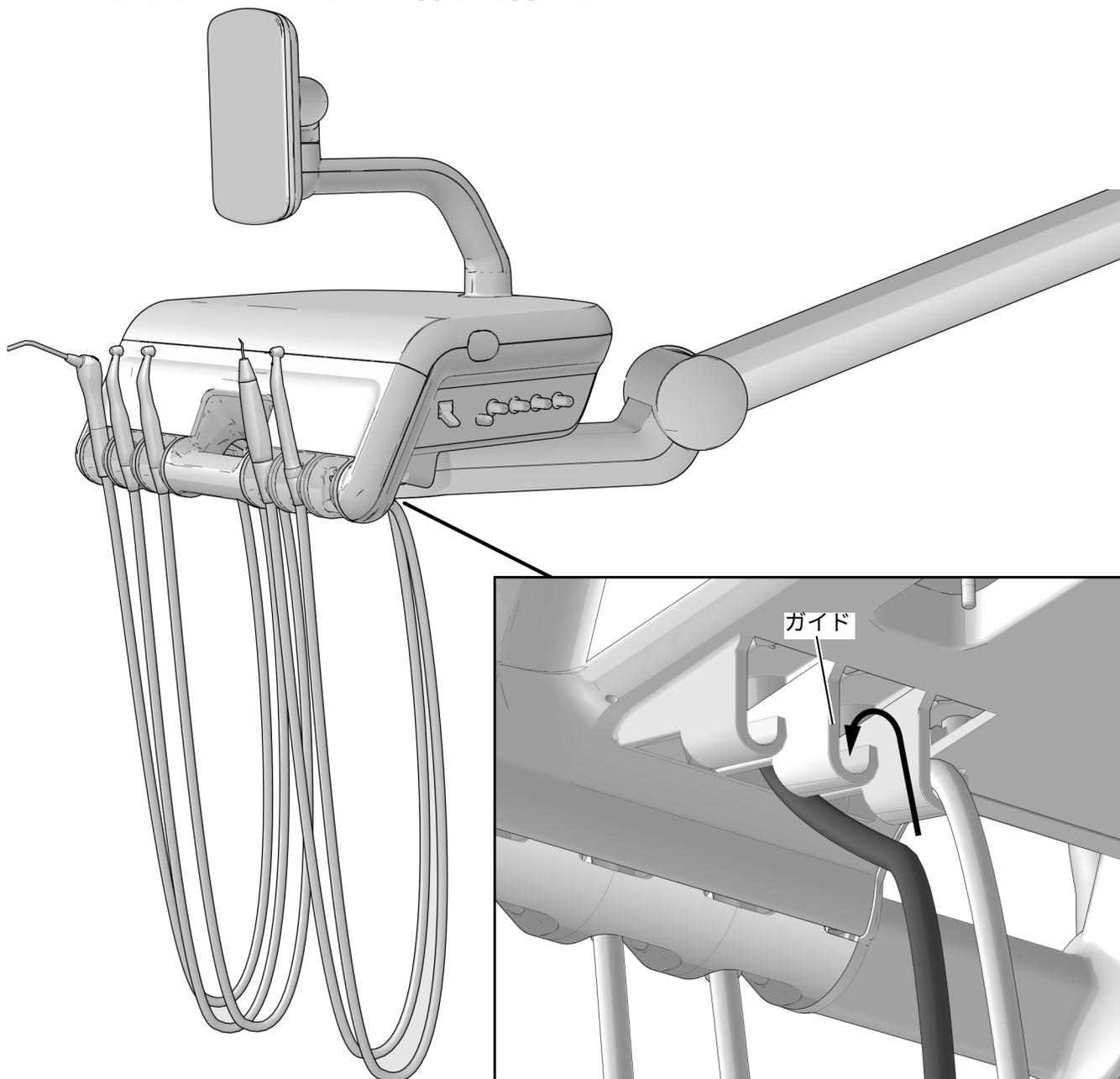
**3** ジャンパーを [EN/DIS TP/FS] ポジションから取り外します。

## 手順 2.



- 1 チェアのベースを目的の動作範囲上限まで動かします。
- 2 ジャンパーを [EN/DIS TP/FS] ポジションに配置します。
- 3 ビープ音が3回鳴るまで、[ベース上昇] ボタンを3秒間長押しします。
- 4 ジャンパーを [SPARE] ポジションに戻します。

## ガイドを通してハンドピース管を配管する



- 1 使用中にハンドピース管が絡まないよう、コントロールヘッドの下にあるガイドを通して配管します。

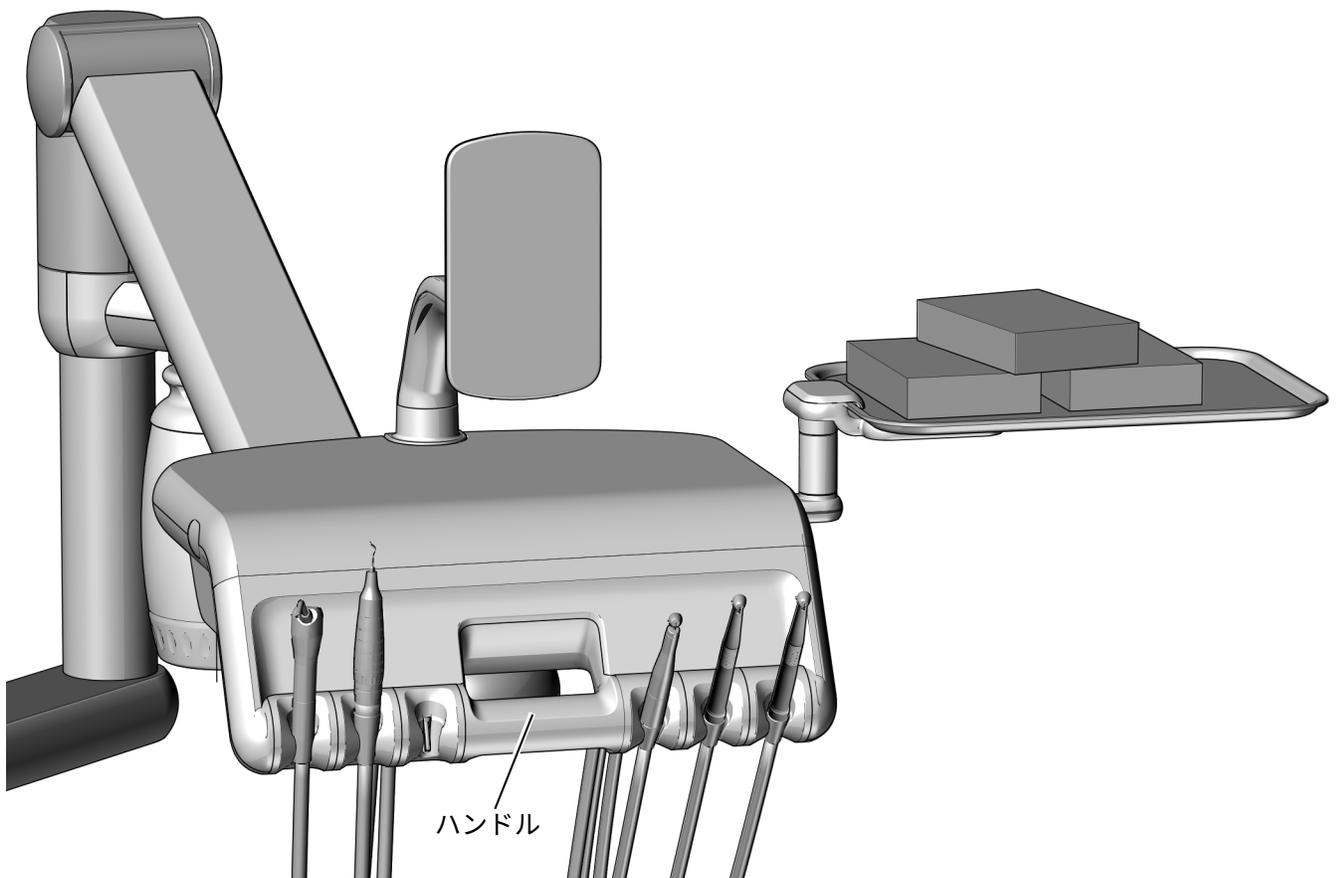
## フレックスアームのカウンターバランスの調整

### 推奨する工具

- 3/8 インチソケットとラチェット（エクステンション付き）

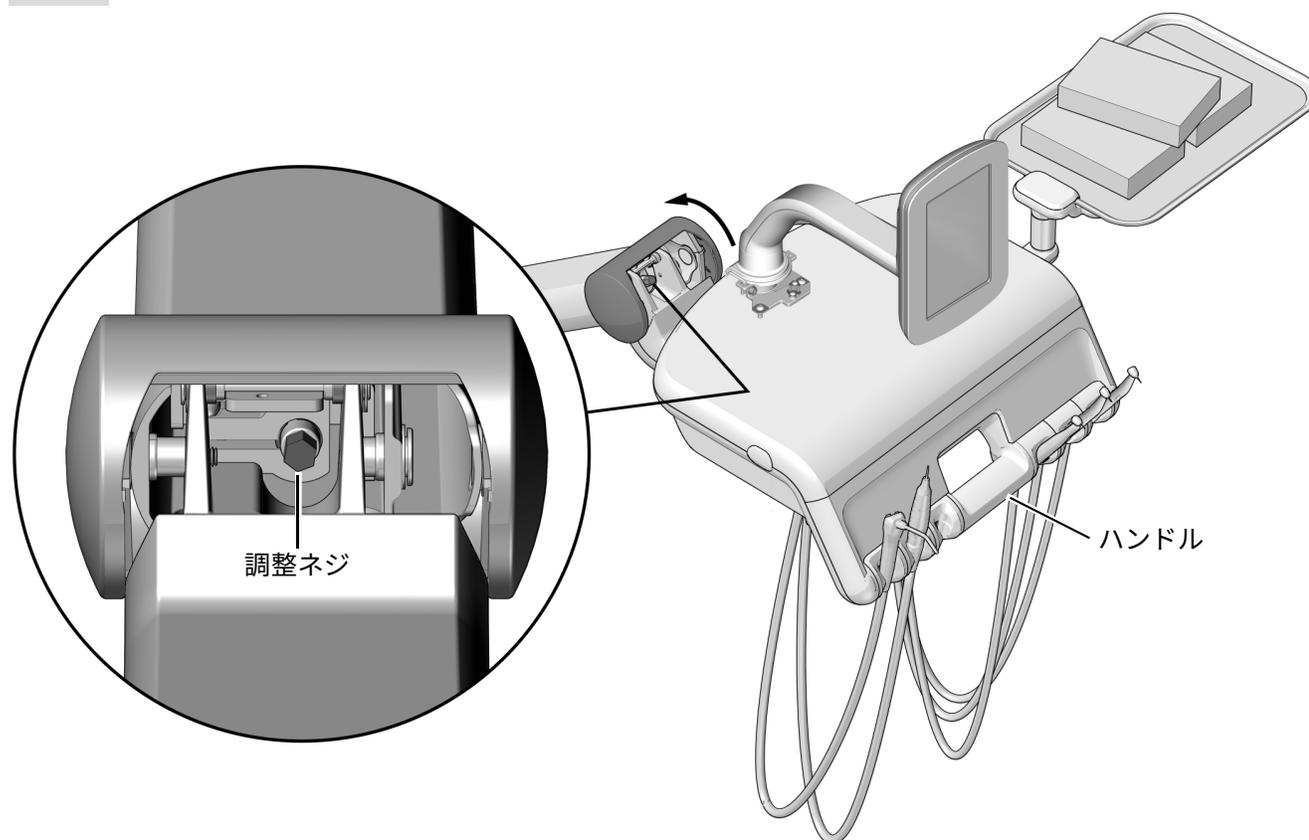
通常使用時の荷重をかけたコントロールヘッドを下限まで降下させた状態でハンドルを握ってブレーキを解除すると、コントロールヘッドが自動的に 7.62 cm（3 インチ）上がります。  
これを実行する際は、必要に応じてフレックスアームのカウンターバランスを調整します。

### 手順 1.



- 1 システムの電源をオンにします。
- 2 チェアとコントロールヘッドを限界まで下げます。
- 3 コントロールヘッドに通常使用時と同じ荷重をかけます。
- 4 ハンドルを握ってブレーキを解除します。
  - コントロールヘッドが自動的に 7.62 cm（3 インチ）上昇すれば完了です。
  - コントロールヘッドが自動的に 7.62 cm（3 インチ）上昇しない場合は、手順 2 に進みます。

## 手順 2.

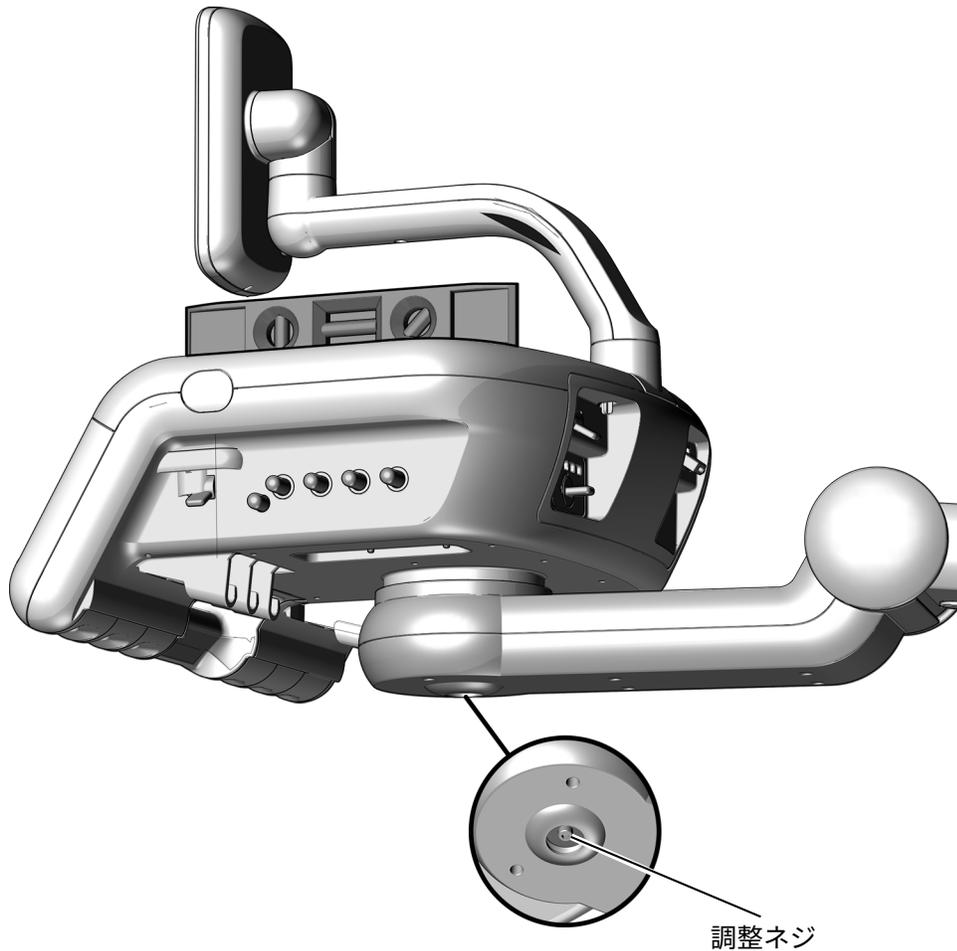


- 1** 調整ネジにアクセスするにはカバーを回転させます。
- 2** コントロールヘッドを上限まで上昇させます。
- 3** ハンドルを握ってブレーキが解除された状態を保ち、エクステンションを付けた 3/8 インチソケットとラチェットを使用してネジを調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。
- 4** コントロールヘッドを下限まで降下させ、ハンドルを握り続けてコントロールヘッドが 7.62 cm (3 インチ) 上昇するかテストします。
- 5** コントロールヘッドを下限まで降下させ、ブレーキを解除した際にコントロールヘッドが自動で 7.62 cm (3 インチ) 上昇するまで手順 2～4 を繰り返します。

## コントロールヘッドの水平調整

### 推奨する工具

- 3/16 インチの六角レンチ
- 水準器



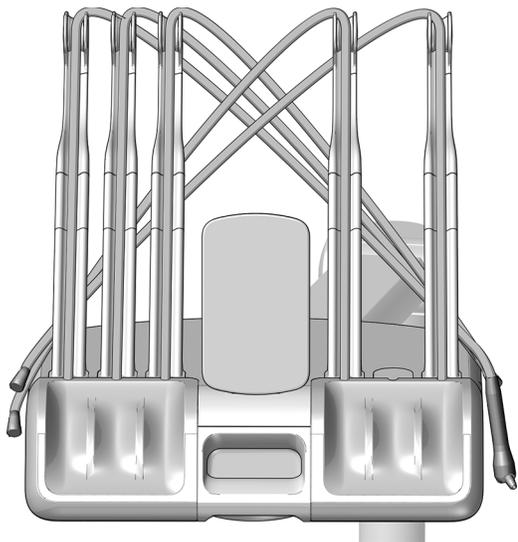
- 1** コントロールヘッドを通常使用時の位置に配置します。
- 2** コントロールヘッドの上に水準器を置きます。
- 3** 3/16 インチの六角レンチを使用して調整ネジを緩めます。
- 4** 左右、そして前後に水準器を動かし、コントロールヘッドを調整します。
- 5** 調整ネジを締めます。

## コントロールヘッドの回転張力の調整

### 推奨する工具

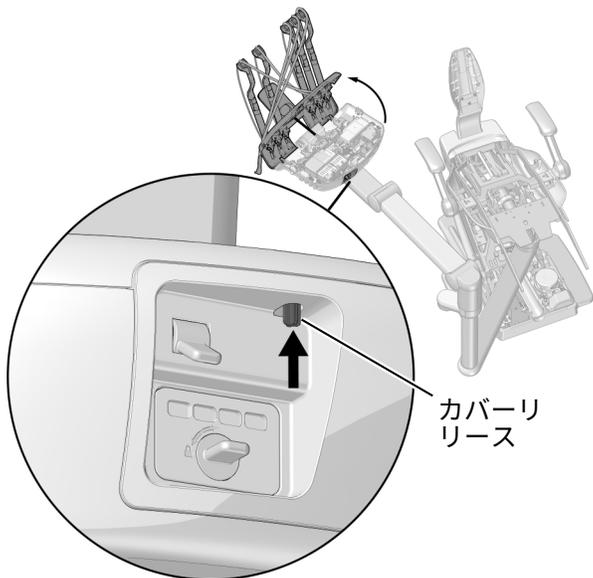
- 5/32 インチの六角レンチ

### 手順 1. Continental デリバリーシステムのみ



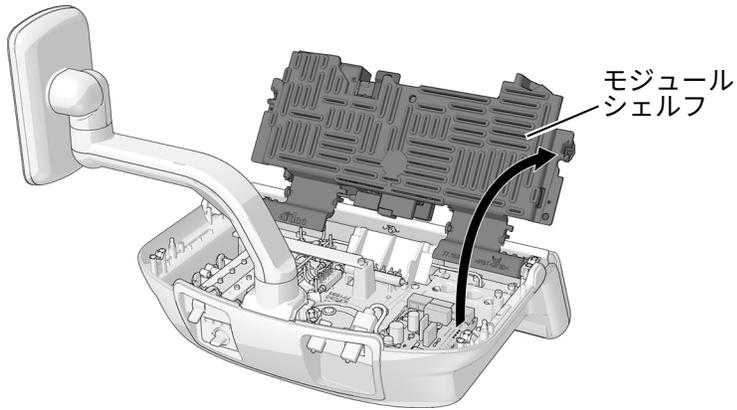
- 1** カバーが開いている間にシリンジやハンドピースが損傷するのを避けるため、各チューブはコントロールヘッドの反対側にあるホイップの裏側に配置します。

### 手順 2.

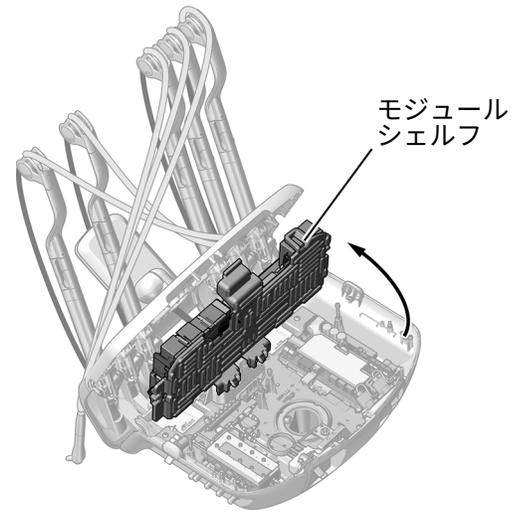


- 1** システムの電源をオフにします。
- 2** コントロールヘッドの裏面でカバーリリースを押し上げ、コントロールヘッドを開きます。

**手順 3.**



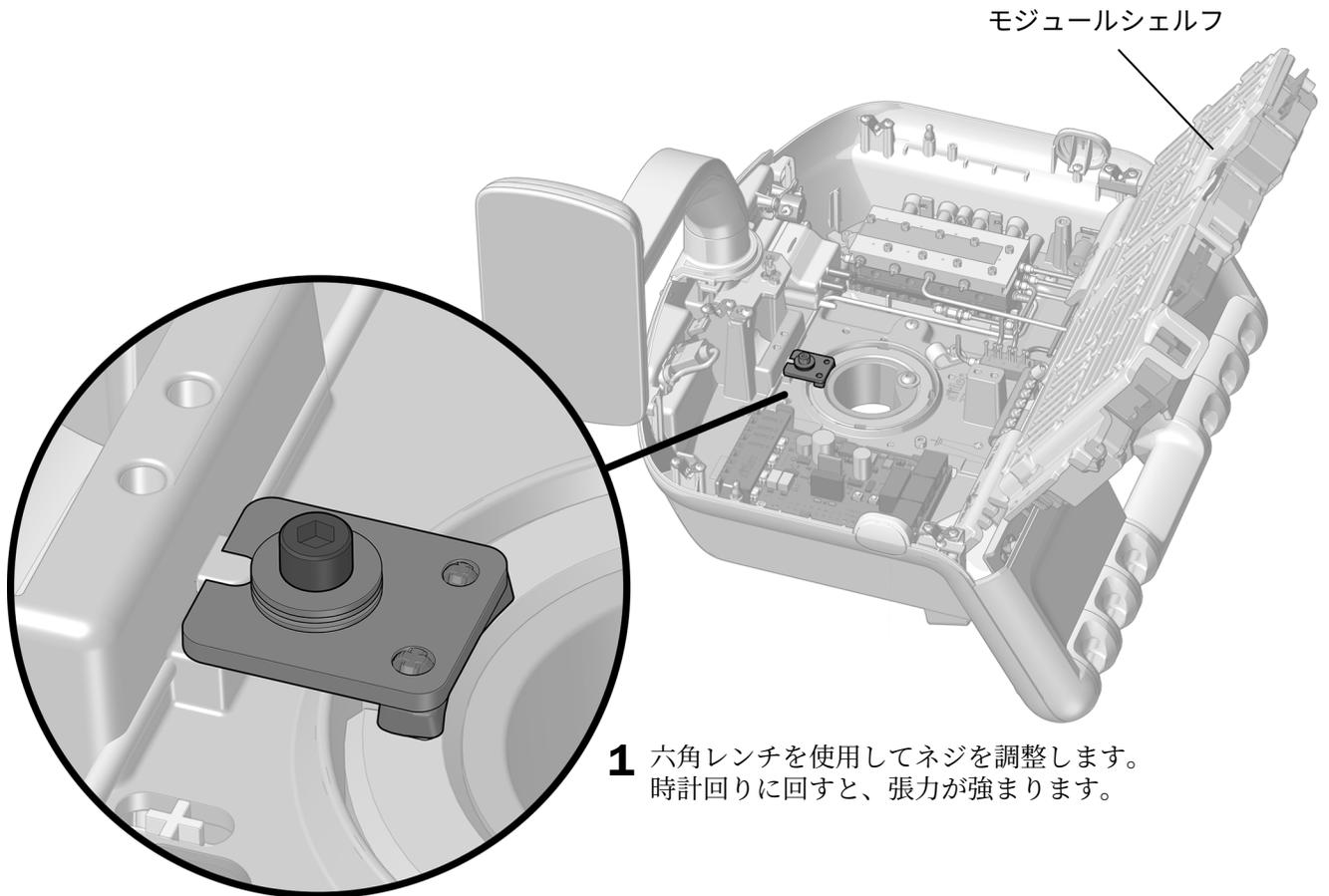
Traditional デリバリーシステム



Continental デリバリーシステム

- 1** モジュールシェルフを持ち上げます。

**手順 4.**



- 1** 六角レンチを使用してネジを調整します。  
時計回りに回すと、張力が強まります。

## ハンドピース空気送出圧の調整

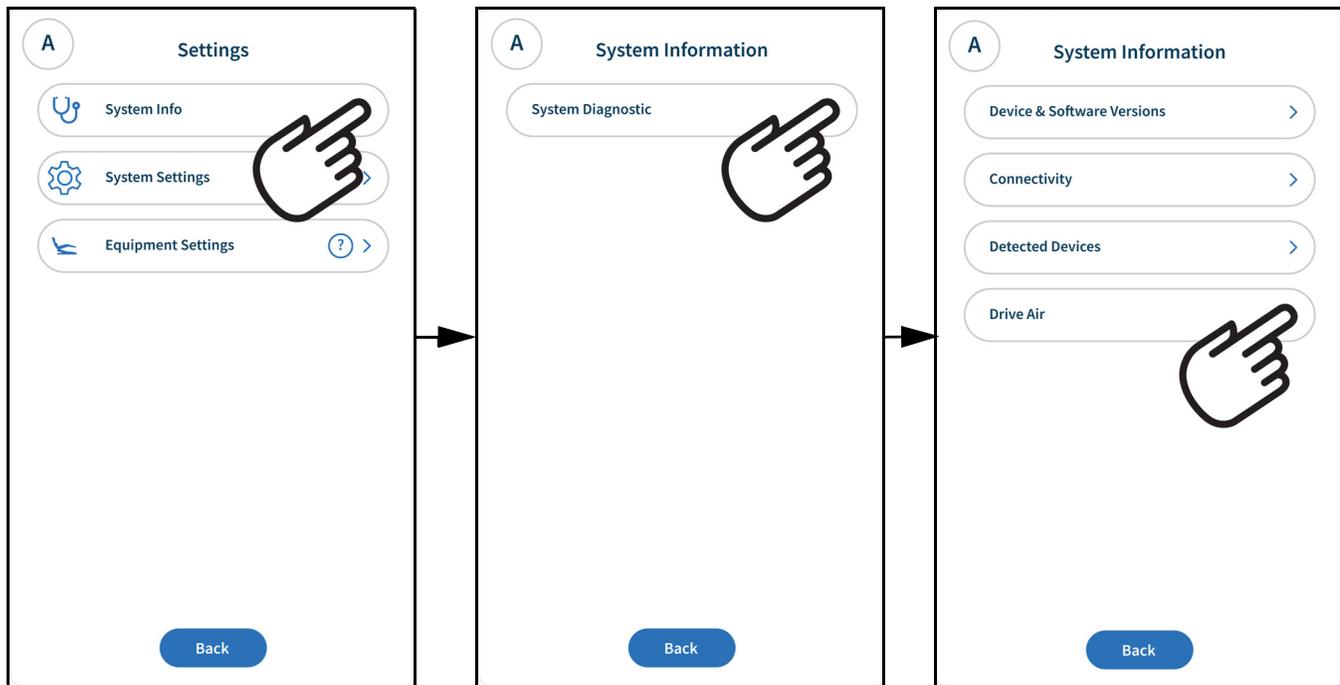


**注意** 空気送出圧がメーカーの推奨値を超えると、損傷の危険性が高まり、ハンドピース部品の寿命が大幅に縮まることがあります。メーカーが規定している空気送出圧の値については、ハンドピースの使用方法を参照してください。



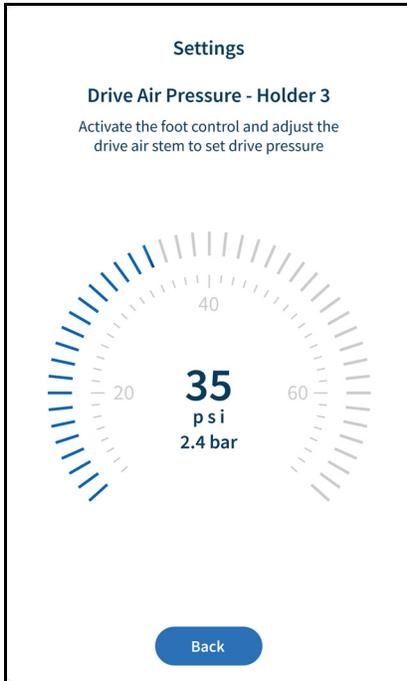
**注** 圧力測定は、ハンドピース圧力ゲージでも実施できます。空気送出圧の調整時には、どの部分における測定かを考慮してください。コントロールヘッドでの圧力をタッチコントロールで読み取った場合、ハンドピースにおける値よりも高くなります。

### 空気送出圧の設定へのアクセス (532pro/533pro のみ)



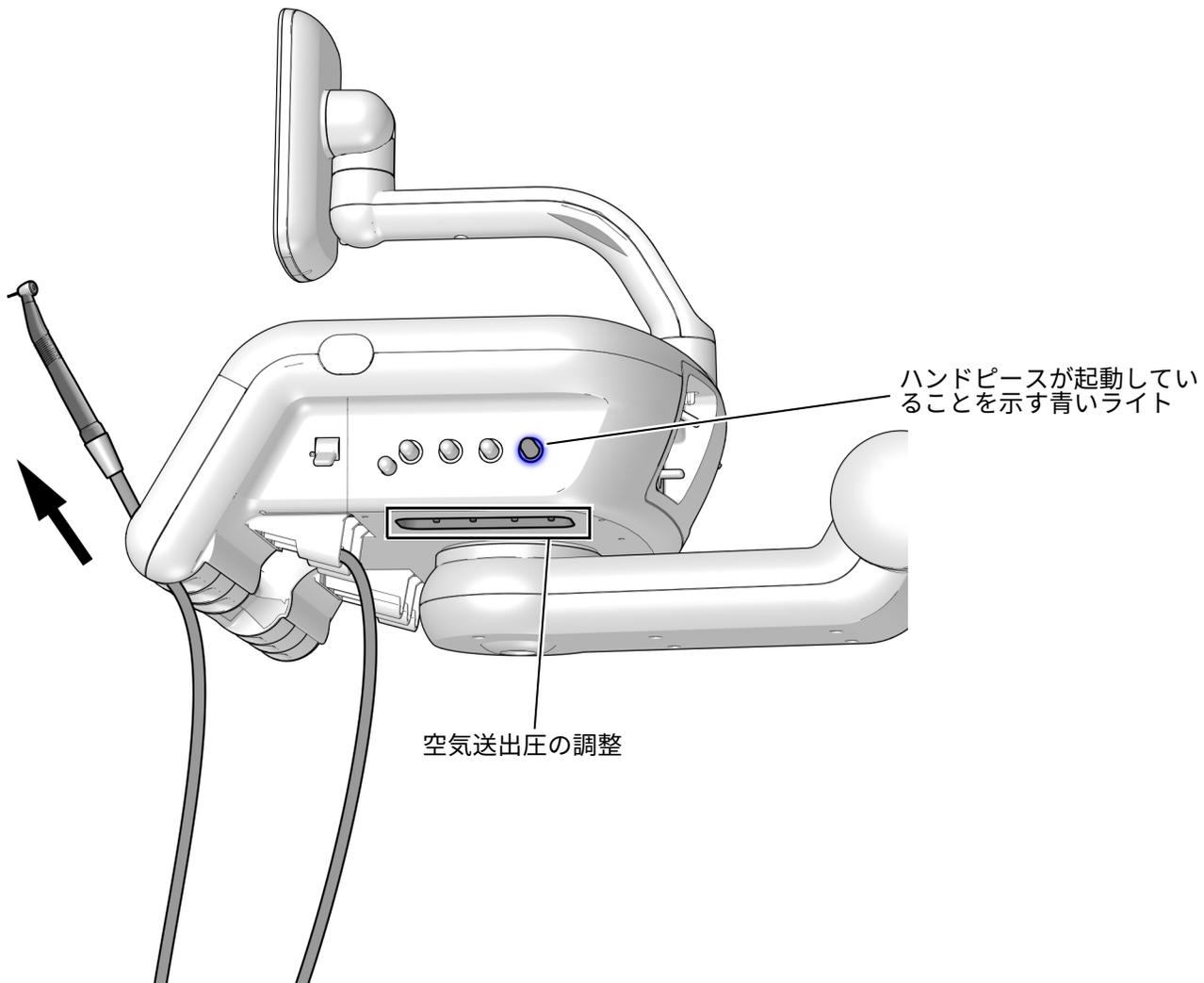
**1** 上部ナビゲーションバーから  を選択し、[Settings] にアクセスします。

**2** [System Info] > [System Diagnostics] > [Drive Air] を選択します。



**3** 44 ページの「空気送出圧の調整」を実行する場合は、空気送出圧の設定を参照してください。

## 空気送出圧の調整



- 1 フットコントロールの水冷却がオフになっていることを確認します。
- 2 532B/533B のみ — 空気送出圧を Deluxe Plus タッチパッドに表示するには、**—** と **+** を同時にタッチします。圧力を読み取るには、ハンドピースが管に接続されている必要があります。
- 3 ホルダーからハンドピースを取り上げるか、ホイップを前方に引き出します。
- 4 水冷却調節ノブ付近にある青いライトは、どのハンドピースが起動しているかを示します。コントロールヘッドの下から、該当する空気送出圧調整システムを見つけます。
- 5 フットコントロールを最後まで踏み込んでハンドピースを作動させ、空気送出圧を調整します。圧力の調整に際しては、メーカーの仕様に従ってください。

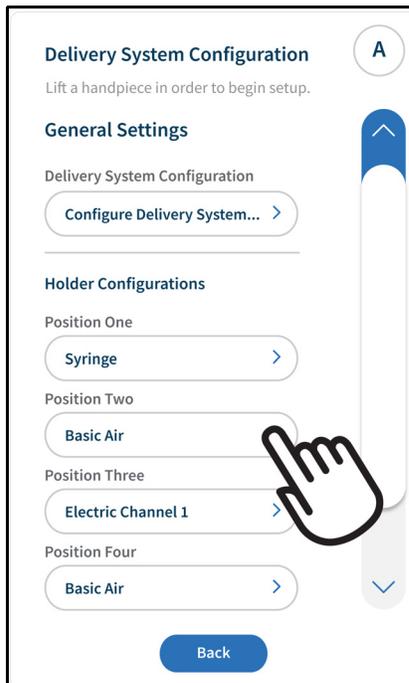
## 口腔内光源の調整

お使いのシステムに応じた手順を参照してください。

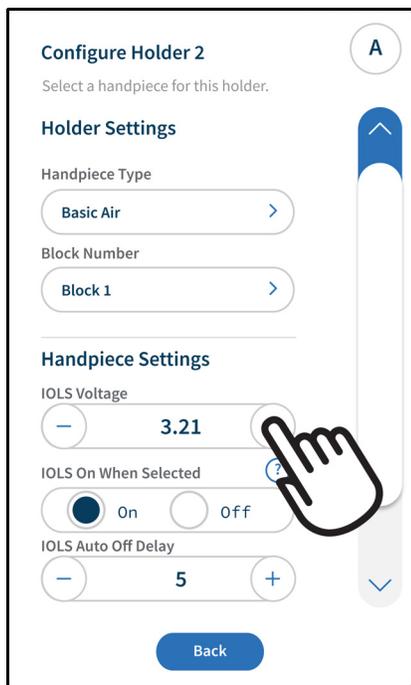
- 45 ページの「532pro/533pro」
- 47 ページの「532B/533B」

### 532pro/533pro

1. 上部ナビゲーションバーから  を選択し、[Settings] にアクセスします。
2. [Equipment Settings] > [Delivery System] に進みます。
3. 調整するハンドピースを選択します。



4. 48 ページの表に従って電圧を調整します。



注 デフォルト設定の [IOLS On When Selected] と [IOLS Auto Off Delay] は、この画面で変更できません。

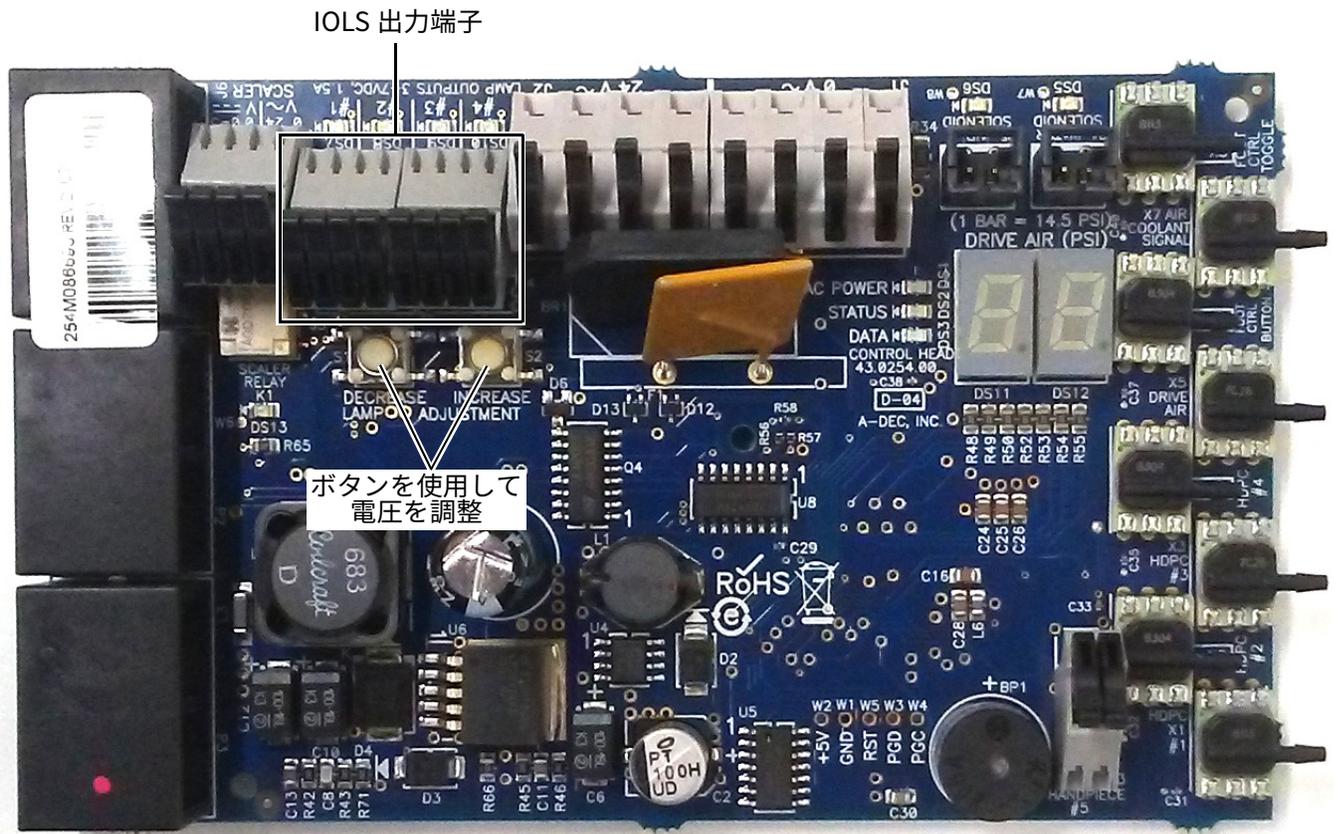
**次のステップ** 49 ページの 「トレイ・ホルダーマウント回転張力の調整」。

## 532B/533B

### 推奨する工具

- 電圧計

1. コントロールヘッドカバーを開き、モジュールシェルフを持ち上げます。
2. DC 電圧に電圧計をセットし、計測するハンドピースの IOLS 出力端子に探針を取り付けます。



3. ハンドピースをホルダーから取り上げ、ライトをオンにします。



**注意** 推奨されるこれらの設定から逸脱した使用環境では、ハンドピースのバルブに損傷が及ぶおそれがあります。

4. 端子の後ろにあるボタンを使用し、48 ページの表に従って電圧を調整します。



**注意** 以下の表に示す値は、26 AWG ワイヤー、750 mA 負荷、およびバルブでの電圧が推奨値 3.2 VDC の光ファイバーの場合のみ有効です。26 AWG ワイヤーとその他の定格で電力が供給される光ファイバーについては、 $T = (Z \times 0.006 \times Y) + X$  という数式で計算してください。各項は以下を示します。

**T** = 端子板電圧 (VDC)

**X** = バルブにおける目標電圧 (VDC)

**Y** = 定格ランプ / 負荷電流 (アンペア値)

**Z** = 端子板からバルブまでの 26 AWG ワイヤーの長さ (インチ)

26 AWG 以外のワイヤーゲージを使用する機器については、A-dec カスタマーサービスまでお問い合わせください。

**A-dec のバルブ (定格 3.2 V) の長さおよび電圧の表**

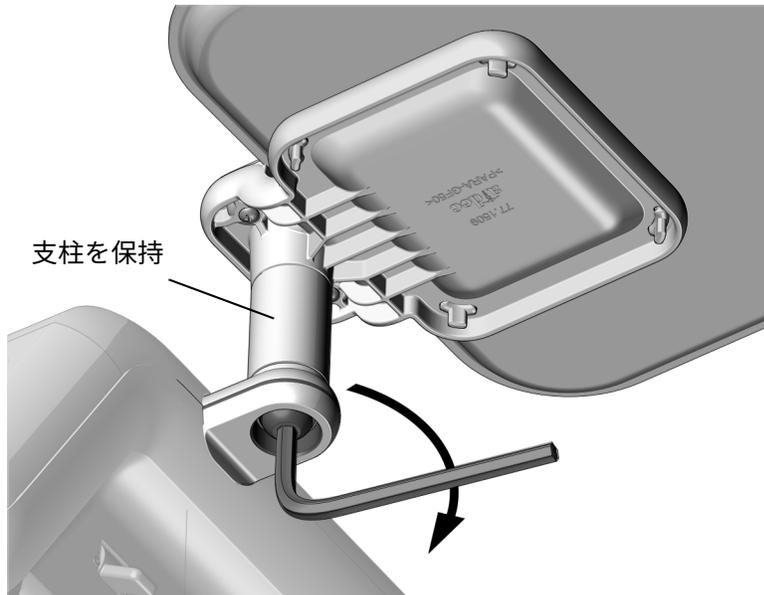
A-dec チューブにおける ワイヤーの長さ		バルブでの電圧を推奨値 3.2 V にするための端子板での電圧	A-dec チューブにおける ワイヤーの長さ		バルブでの電圧を推奨値 3.2 V にするための端子板での電圧
(インチ)	(cm)	VDC +/- 0.02	(インチ)	(cm)	VDC +/- 0.02
48	122	3.40	108	274	3.69
54	137	3.43	114	290	3.72
60	152	3.46	120	305	3.75
66	168	3.49	126	320	3.78
72	183	3.52	132	335	3.81
78	198	3.55	138	351	3.84
84	213	3.58	144	366	3.87
90	229	3.61	150	381	3.90
96	244	3.64	156	396	3.93
102	259	3.67			

## トレイ・ホルダーマウント回転張力の調整

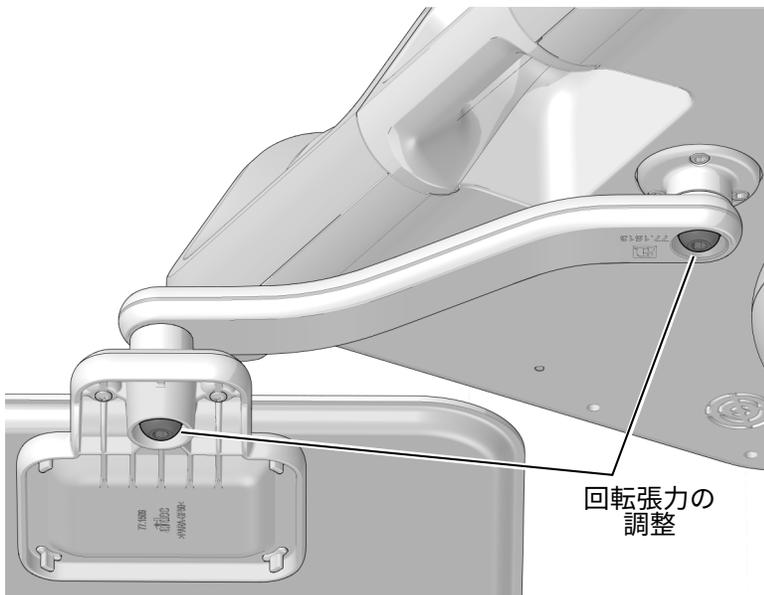
### 推奨する工具

- 7/32 インチの六角レンチ

- 1** 上部トレイ・ホルダーマウントのみ - 支柱をしっかり握ります。
- 2** 六角レンチを使用して、トレイ・ホルダーマウントの回転張力を調整します。時計回りに回すと、張力が強まります。



上部トレイ・ホルダーマウント



下部トレイ・ホルダーマウント (Continental デリバリーシステムのみ)

# タッチスクリーン、コントロールパッド、ハンドピースのカスタマイズ設定

お使いのシステムのコントロールインターフェースの種類に応じたセクションを参照してください。



注 タッチコントロール上の記号やアイコンは、A-dec, Inc. の専有物です。

## DS7 タッチコントロール



タッチスクリーンとコントロールパッドの使用については、以下のリンクから『A-dec タッチスクリーンおよびコントロールパッド使用方法』（部品番号（P/N）86.0857.05）を参照してください。

[a-dec.com/touchscreen-manual](http://a-dec.com/touchscreen-manual)



接続機能の設定については、以下のリンクから『A-dec+™ 使用方法』（部品番号（P/N）86.1030.05）を参照してください。

[a-dec.com/connectivity-manual](http://a-dec.com/connectivity-manual)



## 532B/533B

### 整備技師用 A-dec Deluxe Plus タッチパッドの設定

Deluxe Plus タッチパッドでは、6 個中 4 個のホルダー位置について、ハンドピースとタッチパッドの設定をユーザー用に調整できます。残り 2 個のホルダーは無効化されており、コントロールブロックに接続されていないため、設定を行うことはできません。無効化されているホルダーからハンドピースを持ち上げると、持ち上げたハンドピースに関する情報が表示される代わりに、A-dec のロゴがタッチパッド画面に表示されます。

### ホルダーの設定

各ハンドピース・ホルダー用にハンドピースを設定できます。ハンドピースの種類には、ベーシックエアー、カメラ、電動、その他、超音波などがあります。

ハンドピース・ホルダーを調整するには：

1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. もう一度 → を押して **[Handpieces]** を選択します。
4. **[Handpiece Setup]** 画面で → を押して **[Holder Setup]** を選択します。
5. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
6. **[Holder Setup]** 画面で、— または + を押してハンドピースの種類を選択します。
7. ハンドピースの種類に応じて次のいずれかを行います。
  - **Electric**：設定手順については、コントロールモジュールに同梱されている説明書をご覧ください。
  - **All other Types**：→ を押します。ピープ音が 3 回鳴って、ハンドピースのセットアップが完了したことが示されます。
8. ハンドピースをホルダーに戻します。
9. 起動している各ハンドピースで手順 4～8 を繰り返し、設定を行います。
10. すべてのハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。

## 口腔内光源の設定

以下の設定が可能です。

- **On When Selected**：ホルダーからハンドピースを持ち上げたときに口腔内光源を点灯するか消灯したままにするかを指定します。この機能がオフであっても、フットコントロールを押すと口腔内光源が点灯します。
- **Auto Off Delay**：フットコントロールを放してから口腔内光源を消灯するまでの時間を指定します。この時間は、空気送出を再度使用するとリセットされます。
- **On in Endo**：歯内治療モードのときに口腔内光源を点灯するか消灯するかを指定します。

口腔内光源を設定するには、以下の手順を実行します。

1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. もう一度 → を押して **[Handpieces]** を選択します。
4. ↓ を押して **[Intraoral Lt Source]** を選択し、**[Handpiece Setup]** 画面で → を押します。
5. 設定するハンドピースをホルダーから取り上げます。
6. ↑ または ↓ を押して **[Light Source Setup]** 画面で目的の設定に移動します。設定がハイライト表示された状態で、— または + を押して設定を指定し、→ を押します。設定が完了すると、ビープ音が3回鳴ります。
7. ハンドピースをホルダーに戻します。
8. 各ハンドピースで手順5～7を繰り返し、設定を行います。
9. ハンドピースの設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。

## コントラスト / ヘルプメッセージの設定

タッチパッドの設定では、タッチパッドディスプレイのコントラストを変更したり、ヘルプメッセージを表示するかどうかを指定できます。

タッチパッドの設定を行うには、次の手順を実行します。

1. **[System Setup]** 画面が表示されるまで  と  を同時に長押しします。
2. → を押します。
3. ↓ を押して **[Touchpad]** を選択し、→ を押します。
4. ↑ または ↓ を押して **[Touchpad Setup]** 画面で **[Contrast Adjust]** または **[Help Messages]** を選択し、→ を押します。
  - **Contrast Adjust**：— または + を押して、コントラストを調整します。→ を押して設定を保存します。設定が完了すると、ビープ音が3回鳴ります。
  - **Help Messages**：— または + を押すと、ヘルプメッセージを **On** または **Off** にできます。→ を押して設定を保存します。設定が完了すると、ビープ音が3回鳴ります。
5. すべての設定が完了したら、A-dec ロゴが表示されるまで ← を押します。



注 ヘルプメッセージの一覧は、『**規制情報、仕様および保証**』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com) のリソースセンターから入手できます。

## システムのテスト

---

以下のチェックリストの各項目をチェックし、お客様と確認作業を行います。

### デリバリーシステム

- ハンドピースが正しく機能し、医師の意向に沿って設定されているか（具体的には下記）
  - 水冷却、空気冷却、およびスプレー
  - ハンドピース管のフラッシュ
  - ハンドピース・ホルダーのバルブとスイッチ
  - ハンドピースの空気送出圧
- フレックスアームのエアブレーキが適切に機能するか
- コントロールヘッドは水平か
- フットコントロールが正しく動作するか

### ユーティリティ

- デリバリーシステムへの空気圧が 552 kPa（5.52 バール）に調整されているか
- フロアボックスに空気および水の漏れがないか
- チューブや接続にねじれがないか、また空気や水の漏れがないか
- 余分なチューブやワイヤーがコイル状に巻かれて可動部品から離れた場所に収められているか

## カバーの取り付け



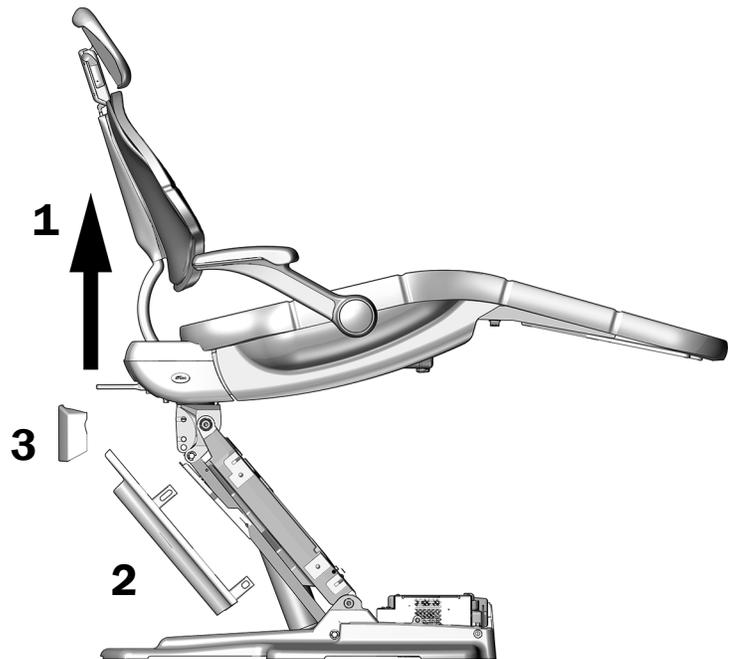
**警告** 感電の危険があります。カバーを外したり元に戻す際には、ワイヤーやチューブに損傷を与えないよう注意してください。カバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

### チェアおよびフロアボックスカバーの取り付け

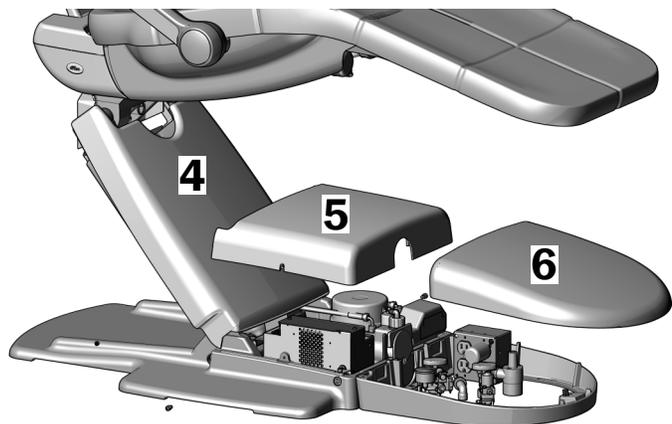
#### 推奨する工具

- 3/16 インチの六角レンチ

- 1** チェアをベース上昇の限界まで上げます。
- 2** ストッププレートのリフトアームのピンに取り付けます。
- 3** マウントカバーをチェアの所定の位置にはめ込みます。



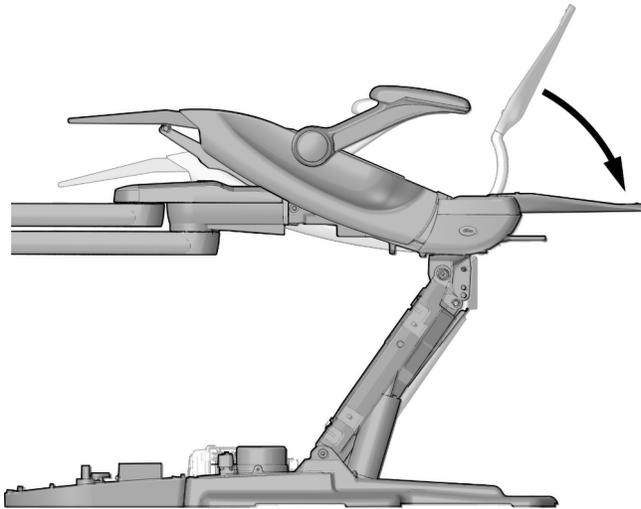
- 4** リフトアームタブにリフトアームカバーを取り付けます。
- 5** 六角レンチと2本のネジを使用して、ポンプカバーを取り付けます。
- 6** フロアボックスカバーを所定の位置にはめ込みます。



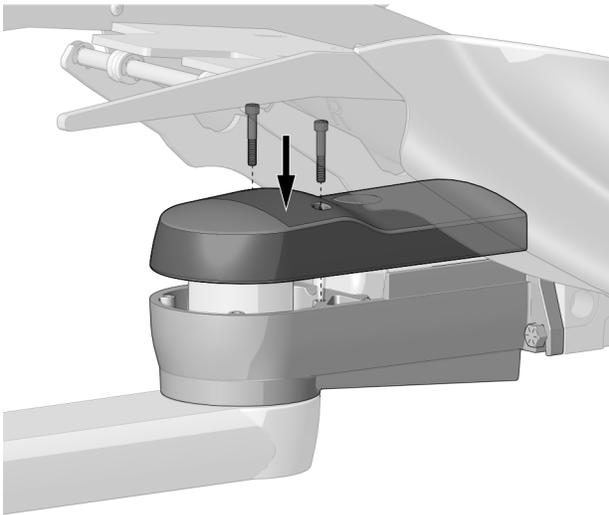
## 正面取付部カバーの取り付け

### 推奨する工具

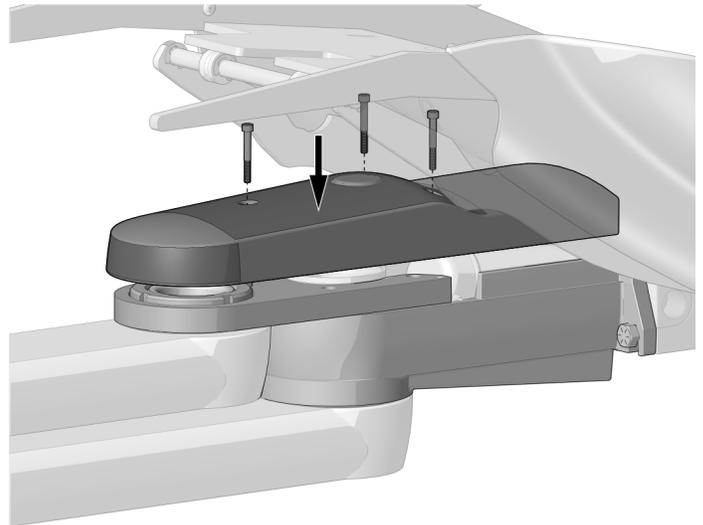
- 3/16 インチの六角レンチ



**1** 背板を限界まで下げます。



デリバリーシステムのためのカバー - ネジ 2 本



デリバリーシステムと歯科ライト、  
または歯科ライトのためのカバー - ネジ 3 本

**2** 正面取付部カバーの穴と、正面取付部の穴の位置を合わせます。

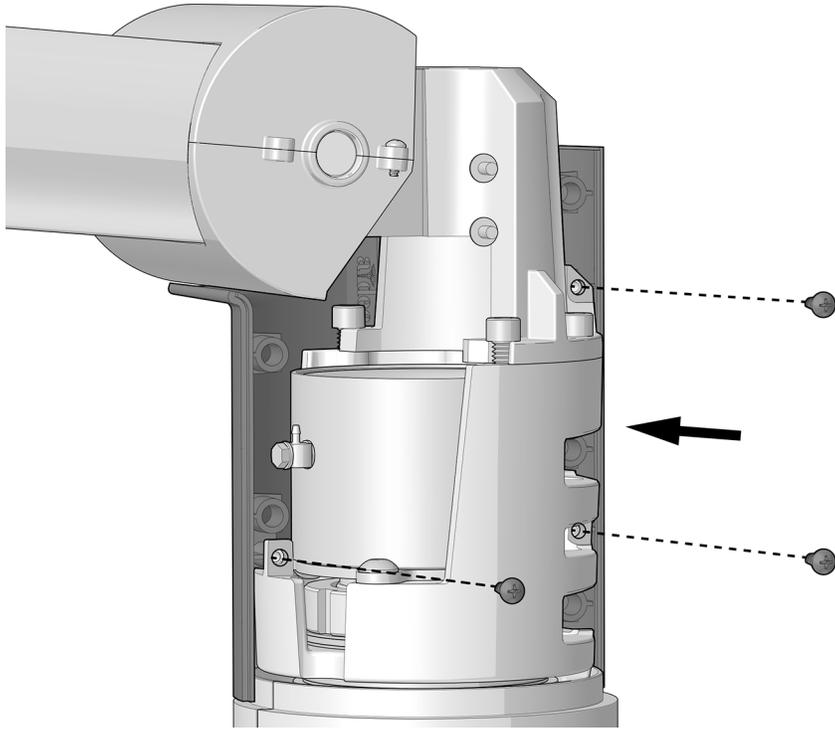
**3** キットに含まれている六角レンチとネジを使用して、カバーを固定します。

## フレックスアームハブカバーの取り付け

### 推奨する工具

- プラスドライバー

### 手順 1.



- 1 プラスドライバーと3本のネジを使用して、ハブの右側（チェアの足側から見て）にカバーを取り付けます。

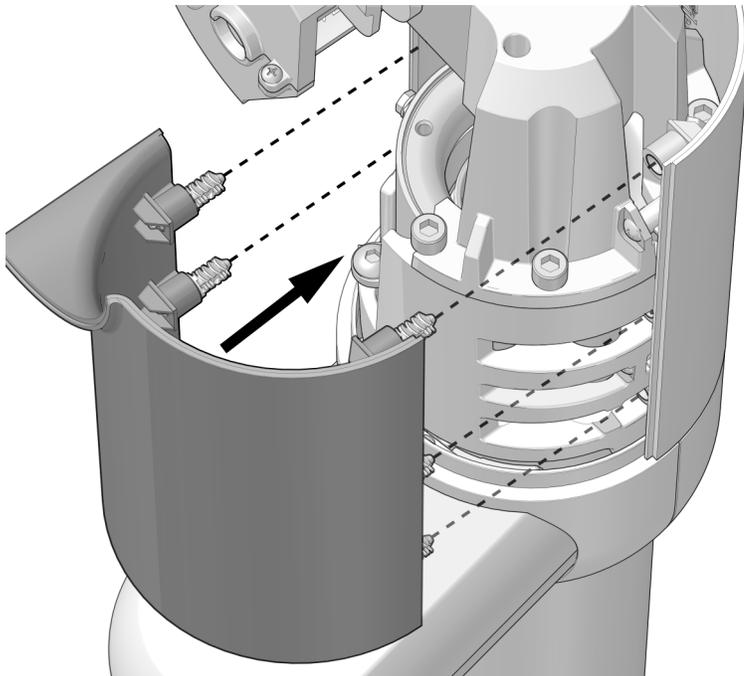


実物大



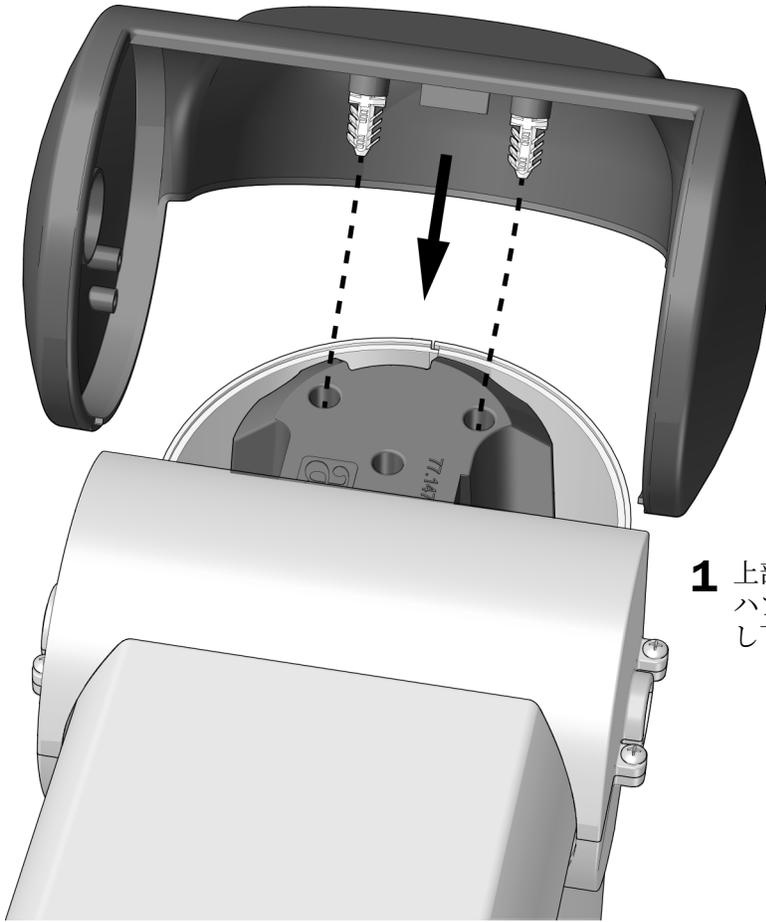
**注** カバーが適切な位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

### 手順 2.



- 1 取り付けしたカバーの穴に5本の留め具を合わせ、ハブを囲むように両カバーをはめ合わせます。

手順 3.



- 1** 上部カバーの両サイドをわずかに引き出し、ハブの側面にフィットさせてゆっくりと押し下げ、留め具をハブの穴に入れます。





## 規制情報および保証

---

当局から指定された規制に関する情報と A-dec の保証については、『*規制情報、仕様および保証*』（部品番号 (P/N) 86.0221.05) に記載されています。この文書は、[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com) のリソースセンターから入手できます。



このドキュメントをオンラインでご覧になるには、左の QR コードをスキャンまたはタップ、クリックしてください。以下のリンクに移動します。  
[a-dec.com/regulatory-guide](http://a-dec.com/regulatory-guide)

本書に記載されている商標はすべて A-dec, Inc. の米国における登録商標または商標であり、その他の国においても商標または登録商標である可能性があります。



### A-dec 本社

2601 Crestview Drive  
Newberg, OR 97132 USA  
電話：1.800.547.1883 米国 / カナダ国内  
電話：+1.503.538.7478 米国 / カナダ国外  
[www.a-dec.com](http://www.a-dec.com)

A-dec, Inc. は本書の内容について、商品性および特定用途への適合性の黙示的保証を含む（ただしこれに限定されない）一切の保証を行いません。